

令和6年度
(2024年度)

沖縄県立博物館・美術館

博物館教育普及活動



あなたの沖縄に出会う



沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

ごあいさつ

博物館は様々な資料を分かりやすく展示し、多くの人々に見ていただくことを大きな使命としています。同時に、来館者の知的文化的な好奇心を充実させる地域の中核施設であることも求められています。

そのような中、当館の教育普及活動は、大きく二つの事業に分け推進してきました。一つ目は、学校連携モデル研究事業です。学校連携授業では、地域と博物館との連携のモデルをめざし、学校団体支援体制の強化を推進し、学校団体受入の充実を図りました。また「出前授業等」では、学芸員と教職員、教育に関わる方々が連携した授業を、小学校・中学校・高等学校、さらには学校以外の多様な学びの場で実施することができました。

二つ目は博物館が広く県民へサービスを提供する事業です。まずはボランティア養成講座を行いました。県民がボランティアとして参加することで、学芸員だけでなく幅広い方々に博物館活動へ関わってもらうことが出来ます。

文化講座は、「展示づくりの舞台裏－民俗展示と船－」を皮切りに全12回実施しました。その他にも、学芸員講座を11回、常設展示解説会とバックヤードツアーをそれぞれ12回実施しました。定員を超えた講座もあり大変好評でした。また、「夏休み!こどもフェスタ」も実施し、学芸員による子ども向けのイベントを全7教室開催しました。

展覧会関連については特別展「芭蕉布展」と企画展「琉球列島 地質・化石展」を開催しました。特別展「芭蕉布展」は10月より開催し、琉球国時代から織られる芭蕉布に注目するとともに、芭蕉の幅広い利用や歌謡の題材にとられた芭蕉なども取り上げ、芭蕉の背景にある人々の暮らしと文化について紹介しました。企画展「琉球列島 地質・化石展」は12月より開催し、古いもので約3億年前に遡ることができる琉球列島の島々の成り立ちを化石・地質資料を中心に展示し、各時代の特徴から島々の成り立ちを紹介しました。それぞれ関連催事として、展示解説会や文化講座、学芸員講座、ジオツアー、映画上映会、琉球舞踊鑑賞会などを行いました。

最後に令和6年度の博物館教育普及事業の実施にあたり、ご講演、ご指導いただきました講師の方々をはじめ、ご協力いただきました博物館ボランティアの皆様、ならびに関係者各位に厚くお礼を申し上げます。

令和7年3月

沖縄県立博物館・美術館
館長 里井 洋一

博物館教育普及活動

目次

ごあいさつ

I 博物館活動について……………1

- 1 はじめに
- 2 博物館活動（四つの車輪）
資料収集/保存管理・調査活動・展示活動・教育普及活動
- 3 博物館の機能
- 4 博物館の施設
- 5 令和6年度博物館教育普及活動について

II 学校連携……………8

- 1 学校団体受入要項
- 2 「民具体験学習」の概要
- 3 「民具体験学習」の実施状況
- 4 「来館学習プログラム」の概要
- 5 「来館学習プログラム」の実施状況
- 6 「出前授業等」の実施要項
- 7 「出前授業等」の実施状況

III 博物館体験学習教室……………19

- 1 体験学習教室の実施要項
- 2 体験学習教室の実施状況

IV 博物館文化講座……………23

- 1 文化講座の実施要項
- 2 文化講座の実施状況

V 博物館学芸員講座……………29

- 1 学芸員講座の実施要項
- 2 学芸員講座の実施状況

VI 博物館常設展展示解説会……………34

- 1 展示解説会の実施要項
- 2 展示解説会の実施状況

VII バックヤードツアー……………35

- 1 バックヤードツアーの実施要項
- 2 バックヤードツアーの実施状況

VIII 夏休み！こどもフェスタ 2024……………36

- 1 夏休み！こどもフェスタの実施要項
- 2 夏休み！こどもフェスタ

IX ふれあい体験室……………39

- 1 ふれあい体験室の概要
- 2 体験キットの種類
- 3 ふれあい体験室の運営状況
- 4 ふれあい体験室の取組み

X ボランティア養成事業……………44

- 1 目的
 - 2 ボランティアの活動内容
- <別紙資料> ボランティア募集要項
<別紙資料> 令和6年度（2024）
ボランティア通信

XI その他……………69

- 1 移動展
- 2 職場体験
- 3 教育普及資料の活用
- 4 ボランティアによる展示ガイド
- 5 特別展・企画展関連事業
- 6 常設展に関する取組み
- 7 新聞・雑誌等掲載一覧
- 8 印刷物一覧

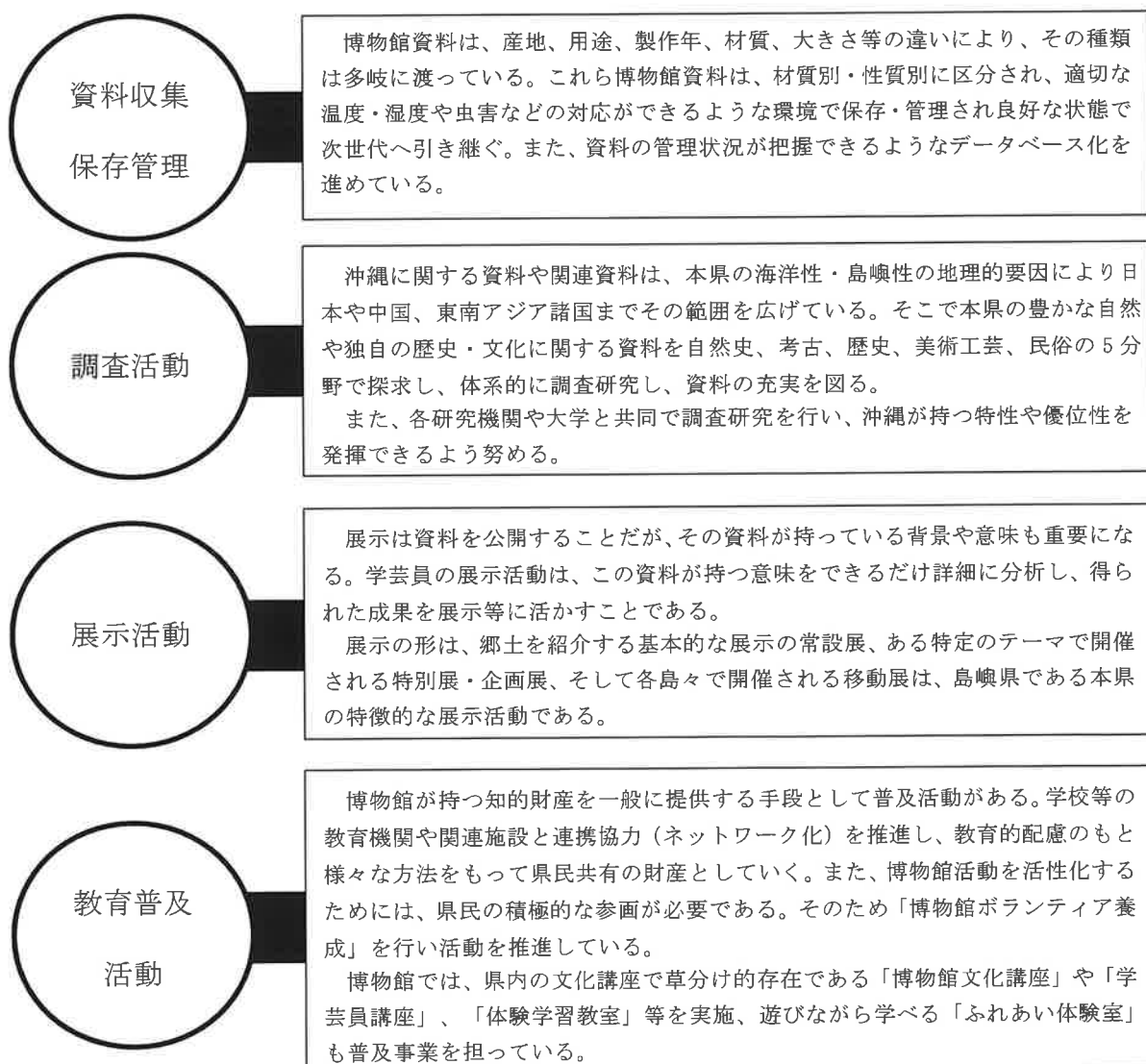
I 博物館活動について

1 はじめに

博物館は、資料収集・保存管理、調査、展示、教育普及の四つを活動の車輪としている。それら車輪を機能させるために下記（１）～（４）に基づいた活動を構築している。

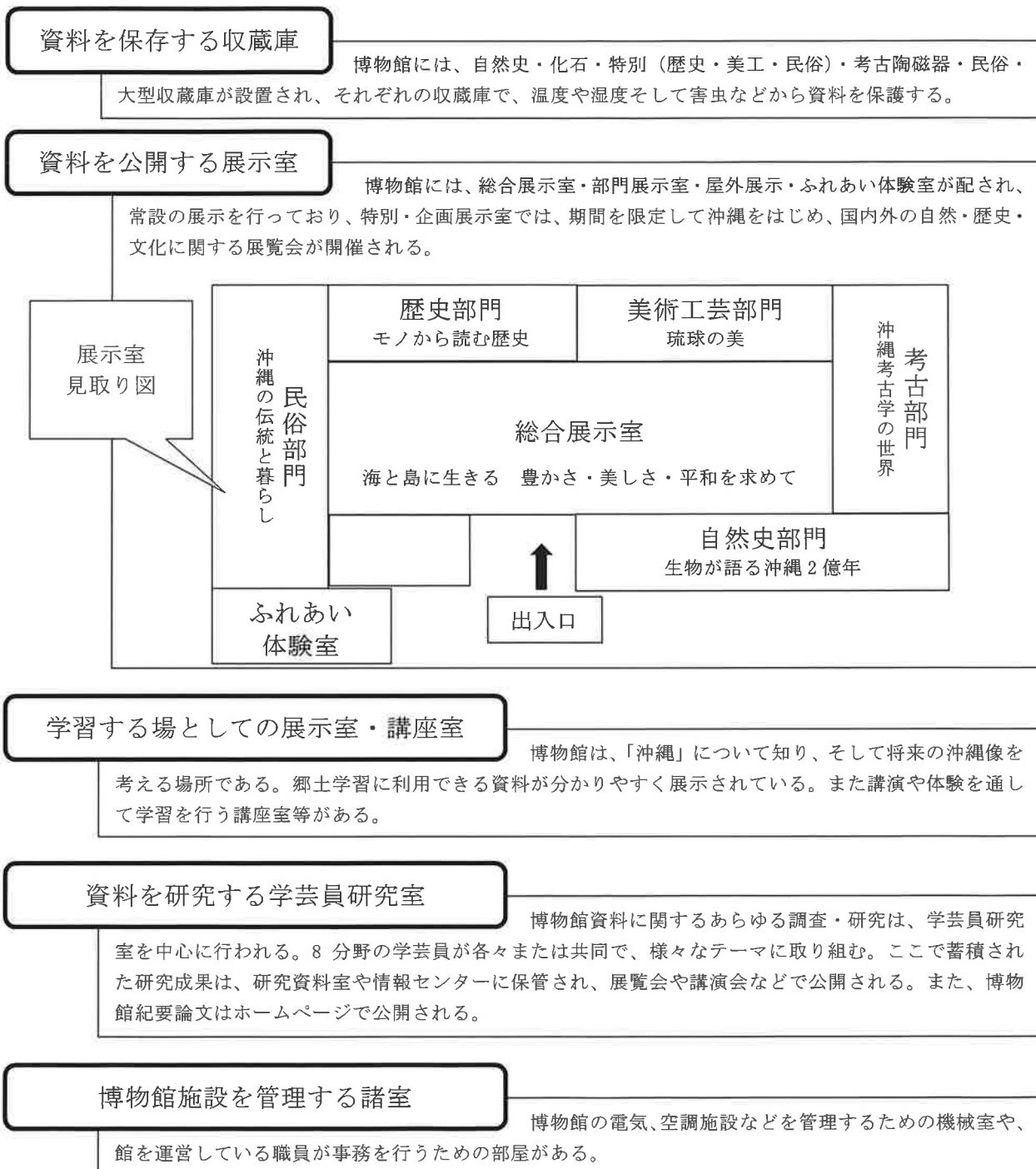
- （１）琉球王国時代の文化(王朝文化)を体系化し、現在につなげる視点からの活動。
- （２）人類学をはじめ、沖縄の特性を生かし、沖縄の優位性を発信する調査研究活動。
- （３）沖縄の自然、歴史、文化の独自性を発信する活動。
- （４）博物館が動き、観覧者が動く博物館活動の展開。

2 博物館活動（四つの車輪）



3 博物館の機能

博物館は、様々な資料を収蔵している施設である。資料は収蔵されるだけでなく、できるだけ長くきれいな状態を維持するために整理・保存していく。しかし、保管しているだけではなく、調査研究により、いつ・誰が・どこで・何のために作ったかを解明し、来館者へ紹介していく。資料は、展示や講座、論文、インターネットなど、いろいろな媒体を通して県民の知的財産として蓄積されていく。いつでも誰でもが利用できるようにするために、博物館にはいろいろな機能がある。



4 博物館の施設

(1) 常設展示

「常設展示」のメインテーマは、「海と島に生きる～豊かさ、美しさ、平和を求めて～」である。

沖縄は、立地・環境的に「海洋性」と「島嶼性」という特性を持ち、そこに住む人々は絶えず「豊かさ」と「平和」を求め続けてきた歴史がある。その風土、自然のなかで育んできた歴史、文化を人類史・自然史の流れの中に位置付け、普遍的に海と島に生きていくことをメインテーマとしている。

その展示構成は、沖縄の歴史を時間で追いながら自由動線で観覧することのできる「総合展示」と、自然史・考古・美術工芸・歴史・民俗の5つの「部門展示」に分かれている。

< 総合展示 >

展示テーマ

- ・「ニライカナイの彼方から」
- ・「シマの自然とくらし」
- ・「海で結ばれた人々」
- ・「貝塚のムラから琉球王国へ」
- ・「王国の繁栄」
- ・「薩摩侵攻と琉球王国」
- ・「王国の衰亡」
- ・「沖縄の近代」
- ・「戦後の沖縄」
- ・「沖縄の今、そして未来へ」

「総合展示」は、上記の10のテーマで、琉球列島の生い立ちから現代までの約2億年にわたる沖縄の歴史をたどる。中国や日本の文化を取り入れながら、独特の文化を創造してきた琉球王国の時代、王国解体後の近代化する沖縄、現在の沖縄までを紹介する。

中央に配した「シマの自然とくらし」のエリアでは、沖縄の「海洋性」・「島嶼性」を大型地形模型によって実感することができる。また、情報端末機で島ごとに異なる表情を持った自然やくらしなどを調べることができる。

< 部門展示 >

「部門展示」は、総合展示を取り巻く展示である。自然史・考古・美術工芸・歴史・民俗の5つの部門展示室では、収集資料を活用しながら、各分野のテーマをより深め、展示替えの頻度を高める展示を目指す。

自然史部門展示

「生物が語る沖縄2億年」をテーマに島の成り立ちや、島々で独特の進化をとげた生き物の世界を展示する。自然観察コーナーでは、顕微鏡で化石や昆虫、岩石の破片、植物標本などを見ることができる。

考古部門展示

「沖縄考古学の世界」と題し、沖縄考古学のこれまでの成果と課題を示しながら、「沖縄考古学」を体系的に学び、古代の人々の生活を追体験することができる。

美術工芸部門展示

「琉球の美」をテーマに、1年に3回展示替えを行い、琉球王国時代の美術工芸品を紹介する。染織品、やきもの、漆芸品、絵画、彫刻、書跡などの資料をゆっくり鑑賞することができる。

歴史部門展示

「モノから読む沖縄の歴史」とし、歴史の中で産出された様々な「モノ」資料を通して、その資料のもつ時代的な意味を解き明かしていく。年数回展示替えをしつつ「那覇港」をテーマにした展示では、近世に制作された屏風絵を軸に、そこで暮らした人々の息づかい、ひいては歴史的、文化的意味を紐解いている。

民俗部門展示

民俗部門展示のテーマは「沖縄の伝統とくらし」である。民俗の宝庫といわれる沖縄の様々な生活シーンの中で創造されてきた民具や信仰などを通して、戦前から伝わる沖縄の民俗世界を追体験することができる。また、現代に息づく民俗の変容した姿を紹介する。

(2) 屋外展示

高倉	高倉は、穀物を貯蔵する倉庫である。床を上げて風通しを良くし、湿気やネズミの害を防ぐ工夫がなされている。構造の違いにより、「沖縄式」と「奄美式」に分かれる。この高倉は、昭和初期に建てられたものを、昭和 51 年（1976）に奄美から移築した。
民家	沖縄の伝統的な民家は、高温多湿の気候風土に適した構造をしている。門扉が無く、母屋も雨戸を全開にして風を通す。また、母屋の正面にあるヒンプン（屏風）は、外部への目隠しとなる。この建物は、資料としてのみならず、講座や多種イベントの際にも会場の一部として活用されており、開館中は靴を脱いでの内覧も可能となっている。
湧田窯	湧田窯は 17 世紀頃の窯跡で、平窯の構造が特徴である。主に、屋根瓦を焼いた窯である。琉球・沖縄の焼き物の歴史を考える上で貴重な資料である。

(3) ふれあい体験室

博物館常設展示室の手前にある「ふれあい体験室」には、37 種類の体験キットが準備されている。これらは展示と関連しており、展示資料を深く理解できるように工夫されている。キットは、パズルのように組み立てるものなど、操作することによって、より理解が深まる仕組みとなっており、体験することで五感を通して沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」にふれることができる。

（詳細については「IX ふれあい体験室」を参照）

(4) 情報センター

情報センターは博物館・美術館の共用施設として、閲覧・検索用の座席を 38 席設けた情報提供のための部屋である。博物館の収蔵資料の検索や、DVD やビデオの視聴ができる。また、沖縄の自然、歴史、文化、美術等に関する専門図書、地方出版図書も配架され、来館者の調べ学習に対応できる。

(5) 講堂・講座室等

講 堂	講演会、シンポジウム、映画上演などを行うことができる。 212 席(車いす 2 人含む)の収容が可能。
講座室	100 名規模の講演会や会議などを開催できる。 机と椅子を撤去すると、小学生 150 名程度の集会が可能。
実習室	体験学習や実技講習会などを開催できる。 40 名程度の収容が可能。

(6) 救護室

来館中における、軽度の気分不良の際には、休憩をとることが可能である。（ベッド数 1 台）

(7) 駐車場

一般車両 158 台（身障者用 4 台含）、バス 10 台が駐車可能である。特別支援学校などの大型車両を横付けできるように、庇付きの玄関を用意している。また、盲導犬のトイレを駐車場側と公園側に整備している。

(8) コインロッカー

使用後に 100 円が返金される、無料のコインロッカーを 262 個準備している。大きな荷物を持参する際は、他の観覧者に迷惑にならないよう、手荷物を預けてからの入館となる。

(9) バリアフリー

博物館・美術館は、不特定多数の人々が利用するため、誰でも安全に利用しやすい施設にする必要があることから、以下のような整備を行っている。

- 観覧者が利用するトイレには、車イス使用者や乳児連れ、オストメイトに対応した機能を設けている。
- 講堂や講座室に磁気誘導ループを設置して難聴者をサポートしている。
- 館入口に音声誘導装置を設置して視覚障害者をサポートしている。
- 車イスや使用者駐車スペースには、雨天時の乗降に考慮して雨よけを設置している。
- 道路や公園からの主な敷地通路に誘導ブロックを設け、総合案内まで連続して敷設している。
- 高齢者や体の弱い人がゆっくり観賞できるように、展示室内に休憩室や椅子を準備している。
- 案内表示は日本語と英語の 2ヶ国語表示としている。

(10) 環境への配慮

■太陽光発電システムの導入

環境負担の低減と電気量の節約を図るため、10kw 程度の太陽光発電装置を設置している。

■雨水及び再生水の有効利用

地下に雨水タンクを設けて、トイレ洗浄水や灌水に利用している。

■夜間電力を利用した氷蓄熱方式空調設備の導入

夜間の安価な電力で作った氷を館内の冷房に利用することにより割高な昼間電力の増加を抑えている。

■総合的有害生物管理 (IPM: Integrated Pest Management) 施設

博物館・美術館では、有害生物 (虫・菌等) から文化財を保護するために IPM を行っている。IPM は、施設を取り巻く環境状況や有害生物の繁殖などの動きを考慮して、生物的防除、科学的・物理的防除を組み合わせることで、虫菌害を抑える管理方法である。

博物館の利用に際して、館内への飲み物、食べ物の持ち込みを禁止している。遠足等の行事の際にも、荷物を車で管理する等の配慮、ご協力をお願いしている。

5 令和6年度博物館教育普及活動について

博物館の教育普及活動は、大きく2つの事業に分けることができる。1つ目は、学校の計画する授業・行事等で博物館を活用する際に支援する「学校連携事業」である。2つ目は、博物館が企画運営する「文化講座」等の各種講座、「常設展展示解説」等の各種解説会、「体験学習教室」、「ボランティア養成」等の事業である。

(1) 学校連携事業

学校連携事業では、各学校の計画による団体観覧の支援で、教育課程の一環として博物館を利用する際に、館として支援することのできる学習内容の調整を行った。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を考慮し、学校と博物館が連携し実践する学習プログラムを作成した。また、コロナやインフルエンザの流行に気を抜けない現状において、感染症対策を行いながら、学校連携事業に取り組んだ。

〈今年度の取り組み〉

令和3年度(2021)から実施している「学校連携事業」において、民具体験、出前授業、来館学習などの館内学習プログラムの充実を図るほか、離島地域における出前授業を推進した。

※事業は令和7年度(2025)まで

(2) 文化講座

文化講座では、博物館の展示内容と関連する各分野(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)の講演を行った。県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施した。

(3) 学芸員講座

学芸員講座では、博物館の学芸員が、研究成果や収蔵品の紹介等の講演・展示解説などを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施した。各分野の学芸員の充実した講話は、博物館をより身近に捉え、観覧者の層を拡大する大切な役割を担った。

(4) 展示解説会

展示解説会では、学芸員が博物館の展示内容に関する資料などの解説を、学芸員の広い視点からわかりやすく解説した。当館における展示資料がどのようなねらいのもと、それぞれの展示室に設置されているかを理解し、参加者が総合博物館ならではの資料のつながりを知る機会とした。また、人数制限を行い実施した。

(5) 体験学習教室

体験学習教室は沖縄の自然や歴史、文化に関わる体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵などを学ぶ機会である。博物館の各分野(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)の展示や企画展等に関連した内容を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供した。また、募集人数を少なく設定し実施した。

(6) バックヤードツアー

博物館に備えられている、調査・研究・保存の各機能を担う諸室の見学を実施した。普段は、入ることのできない収蔵庫やトラックヤードなどの機能を理解し、博物館についてより知ってもらう機会とした。

(7) 夏休み！子どもフェスタ 2024

学芸員が、夏休み中の児童生徒を対象に、沖縄の自然、歴史、文化に関する自由研究や調査研究の導入のとなる内容を検討し、体験型の教室を開催した。可能な限り博物館の情報を提供するなど郷土への興味・関心を高める場を提供した。

(8) ボランティア養成講座

博物館では、県民の自己啓発や学習発表の場の提供を行うと共に、博物館支援活動を目的とした「博物館ボランティア」を導入しており、主に館内催事・学校連携事業全般における来館者サービスをサポートする人員として、また当施設のふれあい体験室での来館者サービスをサポートする人員として活動している。現在総勢 62 名（休止を除く継続活動申請者）の博物館ボランティアが登録している。また、資料整理ボランティアは 33 名が登録している。

令和 6 年度はボランティア養成講座を行い新規に 19 名の博物館ボランティアが登録した。

(9) その他

① 移動展

普段、当館に足を運ぶことができない離島や遠隔地の方々に、移動展の展示を見てもらうことによって、沖縄県の自然、歴史、文化の広域普及を図り、博物館資料や美術作品を観賞する機会を提供した。今年度は、多良間村で開催した。

② 教育普及資料貸出

今年度は、教育機関へ 7 件を貸し出した。

II 学校連携

1 学校団体受入要項

(博物館施設の学校団体見学・体験学習・校内研修等の利用について)

(1) ねらい

- ①博物館への学校団体をはじめとする入館者の増加を図る。
- ②博物館における団体受入を計画的に準備し、運営を行う。
- ③博物館を利用する学校団体に、博物館来館を年間計画の中に位置づけてもらうことにより、計画的な学習支援を行う。

(2) 博物館施設利用の申請から実施までの流れ【県内(小・中・高・特支)学校向け】

【児童・生徒向け】申請から実施までの流れなど

①館内の自由見学(見学サポート有り): 申請(様式2) → 相談・打合せ等 → 実施
※博物館は少人数グループ(20名以下)対象

②館内の自由見学(見学サポート無し): 申請(様式2) → 来館

③民具体験(ボランティアサポート有り): 申請(様式4-①) → 下見・打合せ → 実施
※15校程度受入予定(申請期限6月15日、申請多数の場合、抽選後に結果連絡)
受入可能期日については別添資料をご参照ください。

④民具体験(ボランティアサポート無し): 申請(様式4-②) → 下見・打合せ → 実施

⑤夏季課題学習(主に高校)

⑥キャリア教育プログラム(職場見学、職場体験、インターンシップなど)

⑦出前授業、教育普及資料(民具、体験キット、アートカード等)の貸出 など

【学校職員向け】

⑧校内研修、自主研修、中堅研等教職員研修

⑨教員向け講座(8月第1週に開催予定、内容調整中、後日案内文書発送。)

⑩ボランティアによる展示室解説ガイド

※申込み及び詳細については、以下の連絡先にお問い合わせください。

※その他のご要望についてもご相談に応じます。

①～④: 情報センター TEL: 098-941-1187 FAX: 098-941-3530 ※申請書様式は当館HPよりダウンロード URL: https://okimu.jp
⑤、⑥: (一財)沖縄美ら島財団 教育普及担当 TEL: 098-941-8200 FAX: 098-941-2392
⑦～⑩: 沖縄県立博物館・美術館 博物館班 TEL: 098-851-5401 FAX: 098-941-3650 美術館班 TEL: 098-851-5402 FAX: 098-941-3730

2 「民具体験学習」の概要

令和6年度の民具体験学習プログラムの詳細

【民具体験学習プログラム】 ボランティアサポートあり

小学校第3学年の社会科及び総合的な学習の時間の授業として、ボランティアによる民具体験を実施した。具体的には、着衣体験など民具の実演や展示室での解説などを行い、ボランティアが児童の学習をサポートした。その際、事前に教職員との下見を行い、当日の運営が円滑にできるよう努めた。

【自主民具体験学習プログラム】 教師主導による授業活用

展示解説マニュアルを活用し、教職員が博物館常設展示室における展示資料、民具体験学習における授業の指導作成・進行についての指導等を事前に行った。当館は教職員の授業における活用を支援する取り組みを推進した。また下見の際、学校ごとに来館してもらい時間短縮による打合せを実施した。

3 「民具体験学習」の実施状況

項目	期日	実践校
民具体験学習プログラム (ボランティアによる 実演・解説実施) 全9校	11月8日(金)	浦添市立沢岬小学校
	11月22日(金)	那覇市立城西小学校
	12月19日(木)	西原町立西原小学校
	1月8日(水)	那覇市立天久小学校
	1月10日(金)	那覇市立城岳小学校
	1月16日(木)	那覇市立小禄小学校
	1月17日(金)	那覇市立安謝小学校
	2月14日(金)	浦添市立神森小学校
	2月19日(水)	那覇市立宇栄原小学校
自主民具体験学習プログラム (教師主導による授業活用) 全9校	11月6日(水)	南城市立大里南小学校
	11月12日(火)	糸満市立高嶺小学校
	11月21日(木)	豊見城市立とよみ小学校
	12月3日(火)	糸満市立潮平小学校
	12月4日(水)	南城市立玉城小学校
	1月7日(火)	中城村立津覇小学校
	1月9日(木)	那覇市立銘苺小学校
	1月31日(金)	浦添市立内間小学校
2月5日(水)	那覇市立大道小学校	
	合計	18校

【民具体験学習プログラム】 ボランティアによる実演・解説実施の様子

沢岨小学校の実演の様子。



城西小学校の実演の様子。



西原小学校の実演の様子。



天久小学校の実演の様子。



城岳小学校の実演の様子。



小禄小学校の実演の様子。



安謝小学校の実演の様子。



神森小学校の実演の様子。



宇栄原小学校の実演の様子。



【自主民具体験学習プログラム】 教職員による事業活用の様子

大里南小学校
教職員による自主民具体験学習の様子。



高嶺小学校
教職員による自主民具体験学習の様子。



潮平小学校
教職員による自
主民具体験学習
の様子。



津覇小学校
教職員による自
主民具体験学習
の様子。



銘苧小学校
教職員による自
主民具体験学習
の様子。



内間小学校
教職員による自
主民具体験学習
の様子。



大道小学校
教職員による自
主民具体験学習
の様子。



■3クラスの組み合わせ例

令和6年度 民具体験 学習プログラム

〇〇市立 〇〇小学校 3学年

実施日程： 月 日 () 9:00 ~ 11:25

博物館到着時間： 9:00 博物館出発時間： 11:25 移動手段： バス2台

児童数：104人 引率教師：3名 ヘルパー：1名 保護者：なし(有料・団体1人あたり420円)

担任 1組： 2組： 3組：

児童数 1組：35名 2組：34名 3組：35名

その他：各展示室の観覧の際、誘導が必要。

《社会科》	・かわる道具とくらし
《ねらい》	・使われる道具の変化や、人々の生活との関連を考える力を養う。
《ポイント》	・昔の道具に着目し、当時の暮らしの様子を捉える。

確認事項・・・①ワークシート：有り

②持ち物：水筒 ③名札の準備：(クラスごとのカラーテープを学校で配布)

※名札について、民具体験見学ローテーションのチームを記載(例：「1組-A」「1組-B」

等)

※鉛筆以外の使用不可

※水筒は持ち込み不可、博物館が保管カートを3つ用意。入館時は鉛筆と探検バッグのみ。

プログラム タイムスケジュール

		9時											10時											11時												
		0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	0	5	10	15	20	25					
1組	博物館・美術館到着	トイレ休憩・チケット受け取り											オリエンテーション											まとめ・点呼・解散												
		民具体験 (屋外実演) ※雨天時・雨端 30分											移動	民俗展示部門 25分											移動	自然史展示部門 30分										
		自然史展示部門 30分											移動	民具体験 (屋外実演) ※雨天時・雨端 30分											移動	民俗展示部門 25分										
2組		民俗展示部門 25分											移動	自然史展示部門 30分											移動	民具体験 (屋外実演) ※雨天時・雨端 30分										
		自然史展示部門 30分											移動	民俗展示部門 25分											移動	民具体験 (屋外実演) ※雨天時・雨端 30分										
3組		民具体験 (屋外実演) ※雨天時・雨端 30分											移動	民俗展示部門 25分											移動	自然史展示部門 30分										
		自然史展示部門 30分											移動	民具体験 (屋外実演) ※雨天時・雨端 30分											移動	民俗展示部門 25分										

民具体験は各班4チーム(8~9人ずつ)に分けて、ローテーションします。

民具・・・・・・・・・・・・・・・・28分

運搬の道具(バーキ・ティール) 7分

担ぎ棒(ターグ・水運び・薪運び) 7分

クバガサ・クバンヌー・サバ 7分

洗濯道具(洗濯板・桶) 7分

：誘導・・・各1名

1組		2組		3組	
----	--	----	--	----	--

：民具体験サポート・・・各2~4名

※各グループ4グループに分かれ、6分で交代

着衣の道具 (クバガサ・クバンヌー・サバ)	
運搬の道具 (バーキ・ティール)	
洗濯道具(洗濯板・桶)	
担ぎ棒 (ターグ・水運び・薪運び)	

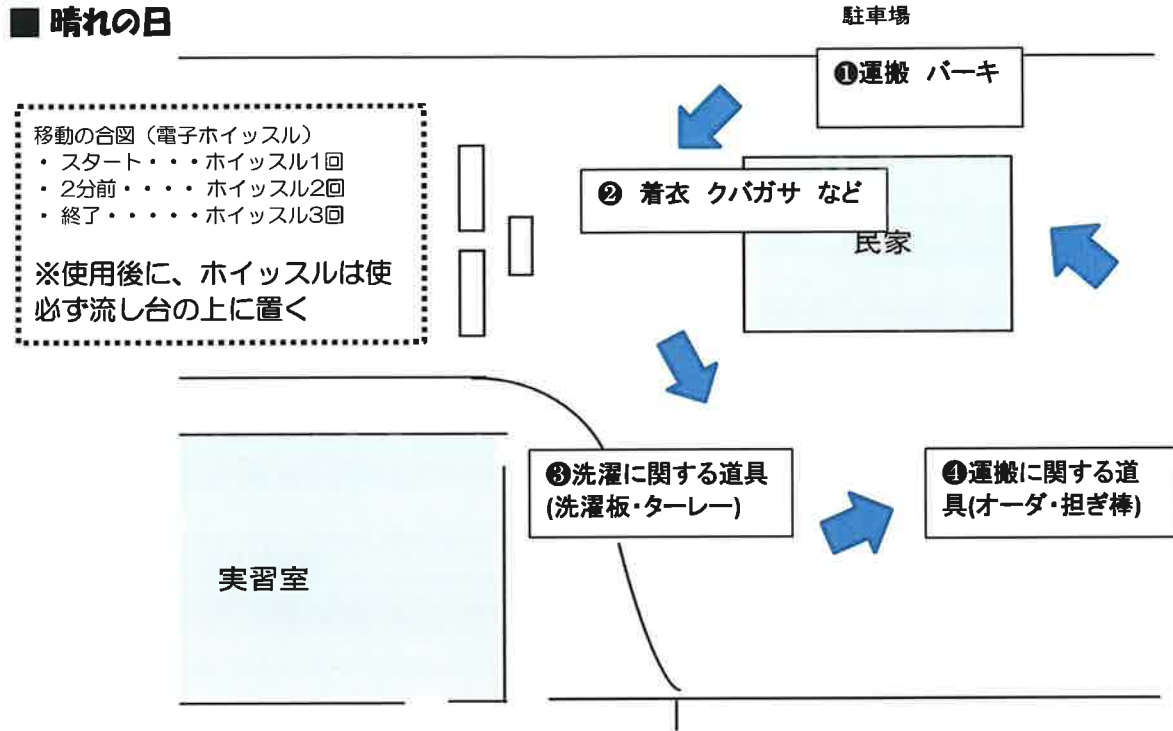
■3クラスの組み合わせ例

民具体験・配置図

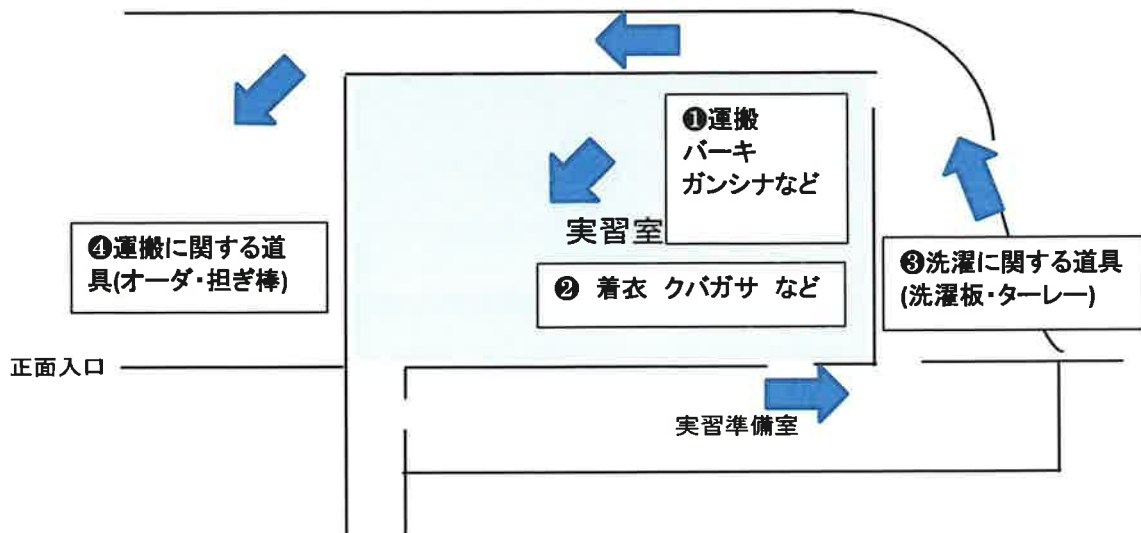
民具体験実施日：1月 12日 (金)

- ・ (小祿南) 小学校、(3) クラス、児童 (34から35) 名
- ・ 民具体験 (4) 種類 /
- ・ 各コーナー (7) 分 + 移動2分 合計30分
- ・ 1グループ (8~9) 名

■ 晴れの日



■ 雨の日



* 2025年3月現在

4 「来館学習プログラム」の概要

令和6年度の来館学習プログラムの詳細

本取組については教育課程の一環として、博物館を学校側が利用する際に、館として支援することのできる学習内容の調整を行った。生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設、職員、博物館学芸員の支援体制を考慮して館内で行う来館学習プログラム等を実施した。今年度は多様な来館学習の要望があったため、その他団体等について※で表記し掲載しています。

5 「来館学習プログラム」の実施状況

	期日	担当学芸員・職員	実施校	人数
1	7月31日(水)	新山 颯大(地質)	琉球大学 理学部	9名
2	8月9日(金)	菊川 章(生物)	興南学園興南高等学校	4名
3	9月12日(木)	菊川 章(生物)	那覇市立天久小学校	12名
4	10月18日(金)	菊川 章(生物) 宇佐美 賢(地学)	沖縄県立陽明高等学校	21名
5	11月28日(木)	宇佐美 賢(地学)	沖縄県立那覇国際高等学校	6名
6	1月9日(木)	宇佐美 賢(地学)	沖縄県立沖縄水産高等学校	17名
7	3月5日(水)	宇佐美 賢(地学) 菊川 章(生物)	沖縄県立沖縄盲学校	4名
総計				69名

沖縄水産高校



天久小学校



6 「出前授業等」の実施要項

*令和6年度学校連携事業

(1) 趣旨

博物館の持つ資源（もの、情報、人）を、出前授業等を通じて学校教育の場で有効に活用する。

(2) 内容

①学校での授業や教員の研修会などに学芸員を講師として派遣する。

②授業では、ティーム・ティーチングの手法により、学芸員は教員と共同し、博物館資料を活用するなどして児童・生徒の学習を支援する。

(3) 対象

県内公立学校及び私立学校（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）

※クラス単位もしくは学年単位

(4) 実施時間

1～2時間程度（調整可）

(5) 実施場所

当該校

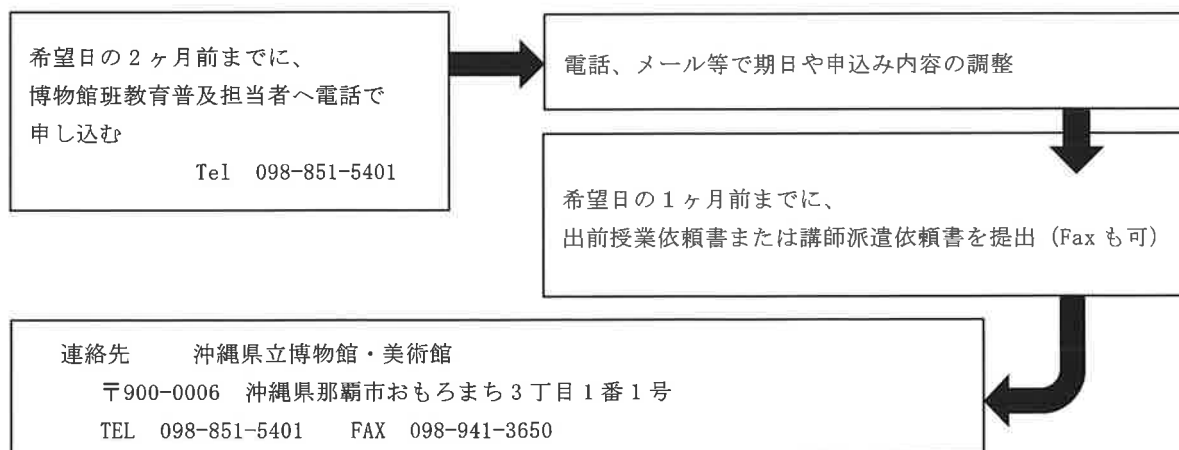
(6) 申し込み方法

※別紙参照

(7) その他

各学校から依頼の「出前授業等」に係る学芸員の派遣旅費（交通費）は、沖縄県立博物館・美術館で負担する。

(8) 出前授業等の申込み方法と連絡先



○申込み方法

希望日の2ヶ月前までに、
教育普及担当者へ電話で申し込む TEL 098-851-5401



電話、メール等で期日や申込み内容の調整



希望日の1ヶ月前までに、
出前授業依頼書または講師派遣依頼書を提出
(Fax、E-mailも可)

○連絡先

沖縄県立博物館・美術館
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号
TEL 098-851-5401 FAX 098-941-3650

教育普及担当

※事業等の関係からご希望の日時に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

(9) 学芸員紹介

	担当分野		氏名
博物館班	自然史	生物	菊川 章
		地質・地学	新山 颯大 宇佐美 賢
		人類	山崎 真治 澤浦 亮平
	美術工芸	染織・陶器・三線	篠原 あかね
		絵画・書跡・彫刻・漆器	伊禮 拓郎
	歴史	古琉球・近世	大城 直也
		近現代	崎原 恭子
	考古		山本 正昭
	民俗		大城 沙織
	教育普及		平川 信幸

○沖縄県の自然、歴史、文化をはじめ、上記内容について、学芸員が博物館の持つ資源（もの、情報）を活用し、児童・生徒の学習を支援する。

※校内研修等で博物館活用について、レクチャーする。

※「講師派遣依頼書」は、ホームページでダウンロードして使用可能。

7 「出前授業等」の実施状況

	期 日	担当学芸員	実施校及び施設
1	6月13日(木)	崎原 恭子(歴史)	沖縄県立那覇工業高等学校
2	6月18日(火)	新山 颯大(地質)	オキナワインターナショナル スクール 小学2年生※雨のため中止
3	6月22日(土)	崎原 恭子(歴史)	石嶺公民館
4	7月12日(金)	菊川 章(生物)	那覇市立垣花小学校 3年生
5	7月16日(火)	崎原 恭子(歴史)	沖縄市立宮里小学校 6年生
6	8月30日(金)	大城 直也(歴史)	那覇市立松島中学校 2年生
7	9月4日(水)	山本 正昭(考古)	伊平屋村 職員
8	10月2日(水)	菊川 章(生物)	沖縄県立那覇国際高等学校 2年生
9	10月22日(火)	宇佐美 賢(地学)	豊見市立豊見城小学校 6年生
10	10月25日(金)	山崎 真治(人類)	興南学園興南高等学校
11	11月8日(金)	澤浦 亮平(人類)	沖縄県立向陽高等学校 1年生
12	11月9日(土)	伊禮 拓郎(美工)	石嶺公民館
13	11月16日(土)	宇佐美 賢(地学)	宜野湾市立博物館
14	11月17日(日)	山本 正昭(考古)	宮古島市教育委員会

15	11月19日(火)	宇佐美 賢 (地学)	沖縄県地学教育研究会室内研修会
16	11月20日(水)	菊川 章 (生物)	南城市立大里南小学校 5年生
17	12月5日(木)	菊川 章 (生物)	沖縄県立中部農林高等学校 3年生
18	12月11日(水)	宇佐美 賢 (地学)	沖縄県立中部農林高等学校 3年生
19	12月17日(火)	山崎 真治 (人類)	九州大学
20	1月16日(木)	大城 沙織 (民俗)	浦添市立前田小学校 3年生
21	1月21日(火)	大城 沙織 (民俗)	那覇市立与儀小学校 3年生
22	1月23日(木)	大城 沙織 (民俗) 菊川 章 (生物) 里井 洋一 (館長・歴史教育)	多良間村立多良間小学校 1・2・3年生 4・5年生 6年生
23	1月31日(金)	大城 沙織 (民俗)	那覇市立壺屋小学校 3年生
24	2月14日(金)	宇佐美 賢 (地学)	沖縄アミークス インターナショナル中学校
25	3月1日(土)	大城 直也 (歴史)	糸満市立中央図書館
26	3月14日(金)	山崎 真治 (人類)	与那国町教育委員会

那覇市立松島中学校



伊平屋村 職員



南城市立大里南小学校



那覇市立与儀小学校



Ⅲ 博物館体験学習教室

1 体験学習教室の実施要項

(1) 趣旨・目的

沖縄の歴史や文化および自然と結びついた体験的な活動をすることによって、郷土の文化や伝統に関心を持たせ、先人の知恵などを学ぶ。

(2) 内容

博物館の各分野(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)の展示内容と関連した体験的な活動を通して、県民が有意義に楽しく学ぶことが出来るよう企画する。

(3) 受講方法

1ヶ月前までに広報し、2週間前までに募集をかける。応募者多数の場合は抽選する。

※抽選の場合、当選者には、事前に当選の通知連絡を行う。

(4) 体験学習に係る役割

前日まで		当日運営	
①事業起案及び講師依頼	博教育普及担当	①受付及び材料費徴収	指定管理者
②マスコミ各社への取材依頼	指定管理者	②開講式 司会	〃
③受講生受付	〃	③講師紹介	〃
④講師事前打ち合わせ	○博物館教育普及担当 ○指定管理者	④講座の進行	〃
⑤説明資料作成		⑤材料等の準備及び配布	○博物館教育普及担当
⑥材料・道具等の諸準備		⑥記念撮影	○指定管理者
⑦ボランティア事前学習		⑦報償費支払い事務	○ボランティア
・準備作業調整			

2 体験学習教室の実施状況

講座日	タイトル	講師名	内容	参加者
7月21日(日)	ウチナーの民話 上映会	沖縄県立南部 農林高等学校 生活デザイン科	デジタルミュージアム 推進事業	60
8月3日(土)	金のかざりを つくってみよう! ～彫金体験～	松田 聖 松田 浩佑 (鋳屋松田 8・9代目)	令和6年度琉球王国 文化遺産集積・再興事業	31
10月13日(日)	芭蕉布をはおっ てみよう 着衣体験	篠原 あかね (美術工芸担当学芸員) 大城 沙織 (民俗担当学芸員)	「芭蕉布展」関連イベント	10
11月10日(日)	芭蕉から糸を つくろう うーうみ体験	喜如嘉の 芭蕉布保存会	「芭蕉布展」関連イベント	15

2月15日 (土)	化石発掘体験	新山 颯大 (地質担当学芸員)	「琉球列島 地質・化石展」 関連イベント	13
2月22日 (土)	琉球古刺繍を やってみよう	琉球古刺繍 保存会	令和6年度琉球王国文化 遺産集積・再興事業	15

民 俗 「ウチナーの民話上映会」

日時：7月21日 (日)

講師：沖縄県立南部農林高等学校 生活デザイン科 生徒8名

内容：第1部 南部農林高等学校の生徒らによる民話紙芝居

上映民話：①「なかちとキジムナー」

②「おにムーチャー」(標準語としまくとぅば)

第2部 デジタルミュージアム動画コンテンツの上映
(標準語と話者のバージョンで上映)

上映民話：①「ブナガヤの材木運び」(大宜味村)

②「クスケー由来」(那覇市)

③「ウズラと野火と歌」(多良間村)

④「宝瓢箪」(与那国町)



美術工芸・歴史 令和6年度琉球王国文化遺産集積・再興事業「金のかざりを作ってみよう！～彫金体験～」

日時：8月3日 (土)

講師：松田 聖 (鋳屋松田 8代目)

松田 浩佑 (鋳屋松田 9代目)

内容：彫金は、鑿(たがね)を用いて金属を彫ることで、アクセサリ
や物具・家具などの鋳金具(かざりかなぐ)を制作するた
めの技術である。琉球でも用いられたこの技術を、みんな
で体験をした。



民 俗 芭蕉布展関連イベント「芭蕉布をはおってみよう 着衣体験」

日時：10月13日（日）

講師：篠原 あかね（美術工芸担当学芸員）

大城 沙織（民俗担当学芸員）

内容：現在、芭蕉布は糸をつくるのがむつかしく、現在は希少な布となっている。イベントでは実際に芭蕉の着物に袖をとおり、肌に触れる体験ができた。



民 俗 芭蕉布展関連イベント「芭蕉から糸をつくろう うーうみ体験」

日時：11月10日（日）

講師：芭蕉布保存会

内容：今回のワークショップでは、製作工程の一つ、苧績み（うーうみ）を体験してもらった。

芭蕉の繊維を績んで、芭蕉布の元となる糸を作った体験者は持ち帰ることができた。



地 質 琉球列島 地質・化石展 関連イベント「化石発掘体験」

日時：2月15日（土）

講師：新山 颯大（地質担当学芸員）

内容：岩石をみがいて隠れた化石を見つける作業を通して、化石発掘から標本ができるまでの流れを体験し、できた標本の観察方法を学んだ。



美術工芸 令和6年度琉球王国文化遺産集積・再興事業「琉球古刺繍をやってみよう」

日時：2月22日（土）

講師：琉球古刺繍保存会

内容：琉球に伝わる刺繍資料をもとに復元された技法を学び、その技法で花びらや葉っぱなどの模様の刺繍を体験した。



IV 博物館文化講座

1 文化講座の実施要項

(1) 趣旨・目的

博物館の展示内容に関する沖縄の自然・歴史・文化等について、広い視点から分かりやすく楽しく、有意義な学習ができるよう、文化講座を開催する。これを開催することにより、沖縄の自然・歴史・文化に対する県民の意識の向上を図ることを目的とする。

(2) 内容

当博物館の展示内容と関連する自然史・人類・考古・歴史・美術工芸・民俗の各分野についての講演、展示品の解説、実技指導、現地研修などを通して、県民各層が分かりやすく有意義に学習できるよう企画されている。

(3) 実施日と場所

実施日：毎月1回、土曜日 午後2時～4時までの2時間

場 所：特に指定がない場合は、当館講堂（3F）

(4) 受講方法：当日先着 200 名

2 文化講座の実施状況

回数	期日	演題	講師名	定員	参加者
561	4月20日（土）	「展示づくりの舞台裏－民俗展示と船－」	板井 英伸	200	57
562	5月18日（土）	「沖縄のヤモリ・トカゲ－爬虫類を通して島を見る－」	戸田 守	200	125
563	6月15日（土）	「『渡閩航路図』の世界－琉球王国の海上交通を探る－」	山田 浩世 黒嶋 敏	200	120
564	7月20日（土）	「九州の中世城郭－各地の地域性を中心に－」	岡寺 良	200	70
565	8月31日（土）	「海外に残された琉球文学資料－国立台湾大学図書館蔵『琉歌大観』を読む－」	石川 恵吉	200	45
566	9月21日（土）	「今帰仁のグスク時代人－勢理客中道原洞穴遺跡の調査より－」	玉城 靖	200	134
567	10月26日（土）	「無形文化財と芭蕉布」	生田 ゆき	200	125
568	11月16日（土）	「喜如嘉の芭蕉布」	平良 美恵子	200	135
569	12月14日（土）	「琉球の茶文化について」	森 達也	200	140
570	1月18日（土）	「貝と化石に魅せられた一人のうちな－んちゅのはなし」	安里 開士	200	145
571	2月15日（土）	「資料が語る『大濱信泉』の生涯」	喜舎場 大貴	200	80
572	3月8日（土）	「地下壕でつながる沖縄戦」	安藤 広道	200	130

第 561 回 文化講座

演題：「展示づくりの舞台裏—民俗展示と船—」

講師：板井 英伸（一財）沖縄美ら島財団

海洋博公園管理センター 企画運営課調査展示係

内容：博物館の展示は、どのようにつくられるのか。実物・模型・複製に、物量展示・テーマ展示・ストーリー展示などの見せ方、演出のために用いる演具・照明・音響…。「何を・どう配置して・どう演出して・何を伝えるか」には、多様な手法がある。民俗部門展示室や進貢船模型の制作過程などその舞台裏について解説した。



第 562 回 文化講座

演題：「沖縄のヤモリ・トカゲ—爬虫類を通して島を見る—」

講師：戸田 守（琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授）

内容：沖縄のヤモリ・トカゲの多くは、この地域の固有種であり、それぞれ、島の歴史や環境を反映して独自の進化を遂げた、世界でもここで見ることができない貴重な存在だ。今回の講座では、沖縄のヤモリ・トカゲを紹介しつつ、彼らがどのように固有種へと進化したのか解説された。また、沖縄は、絶滅が危惧される爬虫類が集中して生息している地域でもある。その理由についても解説し、それらの希少な種の保全について考えた。



第 563 回 文化講座

演題：「『渡閩航路図』の世界—琉球王国の海上交通を探る—」

講師：山田 浩世（沖縄県立芸術大学 准教授）

黒嶋 敏（東京大学史料編纂所 教授）

内容：沖縄県立博物館・美術館に所蔵される一風変わった絵図、航路図に『渡閩航路図（とびんこうろず）』がある。本講座では、見た目鮮やかに描かれながら、那覇港から中国（福州）へつながる航路と、その周囲にひろがる島々を詳細に描いた本絵図を読み解き、海上を行き来した人びとの目線から、海の王国として栄えた琉球の世界を考えた。



第 564 回 文化講座

演題：「九州の中世城郭—各地の地域性を中心に—」

講師：岡寺 良（立命館大学文学部准教授）

内容：九州には様々な中世城郭がある。中世の日本列島で一般的に見られる「連郭式城郭」のほか、同規模の曲輪が並列する「群郭式城郭」など、各地の地域性に応じたバリエーション豊かな城郭が確認されている。本講座では、九州北部から薩南諸島までの広範囲にわたって築かれた様々な構造の中世城郭を紹介し、九州各地の地域性の在り方について解説した。



第 565 回 文化講座

演題：「海外に残された琉球文学資料—国立台湾大学図書館蔵『琉歌大観』を読む—」

講師：石川 恵吉（法政大学 沖縄文化研究所国内研究員）

内容：長年“幻”の詞歌集として伝えられてきた『琉歌大観』。平成2年にその写本が国立台湾大学図書館に残されていることが判明し、県内外の琉球沖縄研究者を驚かせた。あれから30年余の月日を経て、昨年琉球大学と台湾大学の共同研究によってその全容が明らかにされたところだ。本講座では、台湾に残された貴重な写本の解明を通して見えてきた、謎の多い『琉歌大観』の世界を最新の研究成果をもとに紹介した。



第 566 回 文化講座

演題：「今帰仁のグスク時代人—^{せりきやくなみちほる}勢理客中道原洞穴遺跡の調査より—」

講師：玉城 靖（今帰仁村歴史文化センター 館長）

内容：約10年前、今帰仁村内の洞穴から戦没者遺骨として多くの人骨が収集された。しかし、古墓の可能性があることから人骨の年代測定を行ったところ、グスク時代であることが判明した。県内でもグスク時代の人骨出土例は非常に少なく、北部地域でこれほどまとまった出土は初の事例となった。本講演では、令和4年～5年度に行われた洞穴遺跡の発掘調査の成果を中心に、今帰仁のグスク時代人について解説した。



第 567 回 文化講座

演題：「無形文化財と芭蕉布」

講師：生田 ゆき（文化庁文化財第一課工芸技術部門 文化財調査官）

内容：今回の講座は、「芭蕉布展」の関連催事として開催した。

「無形文化財」とは何だろうか？「文化財」は耳にしたことがあったとしても、その前に「無形」とつくると、途端になじみが薄く感じてしまう。この講座では、昭和 25 年に制定された文化財保護法を中心に、我が国の無形文化財の保護政策の変遷をたどりながら、「無形文化財」の保存の重要性と課題について考えていった。また同時に、沖縄の伝統工芸の「芭蕉布」が、無形文化財として、どのように位置づけられ、評価されてきたかについても確認した。講座の中では、重要無形文化財に指定されている他の工芸技術の例も紹介した。



第 568 回 文化講座

演題：「喜如嘉の芭蕉布」

講師：平良 美恵子（喜如嘉の芭蕉布保存会会長）

内容：今回の講座は、「芭蕉布展」の関連催事として開催した。

現在、「世界の芭蕉布」と名高い喜如嘉の芭蕉布が歩んできた 50 年間は、多くの人に愛され、支えられてきた月日でもある。本講座では喜如嘉の芭蕉布が歩んだ歴史を、さまざまな分野で活躍する著名人や地域の人々との思を話すとともに、実際に芭蕉布に触れることができた。

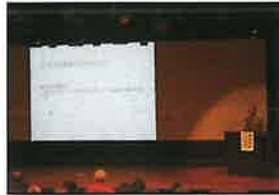


第 569 回 文化講座

演題：「琉球の茶文化について」

講師：森 達也（沖縄県立芸術大学 副学長 / 教授）

内容：琉球王国では、古琉球時代の 14 世紀頃に日本から禅宗寺院の茶文化が伝播し、首里城をはじめとするグスクで数多くの天目茶碗や茶入（中国福建産）が出土している。古琉球時代末期から近世初期には日本の茶の湯（茶道）が伝播して、士族の必須の教養となり、首里城では中国皇帝が派遣した冊封使をもてなす場で披露されている。一方、明清時代の中国の茶文化も伝わっており、日本の煎茶と似た喫茶方法も盛んとなった。本講演では、こうした琉球王国時代の茶文化の歴史について、その概要が述べられた。



第 570 回 文化講座

演題：「貝と化石に魅せられた一人のうちなんちゅのはなし」

講師：安里 開士（福井県立恐竜博物館 研究員）

内容：岐阜県大垣市金生山にはペルム紀の赤坂石灰岩が分布し、数多くの無脊椎動物化石が産出することで知られている。赤坂石灰岩から見つかった二枚貝の仲間である「シカマイア」は、長きにわたってその全貌は不明であった。本講座では数年をかけて完遂された化石の部出（クリーニング）作業工程を中心に、シカマイアの全貌が明らかにされていく過程などが、豊富な映像資料と共に紹介された。



第 571 回 文化講座

演題：「資料が語る『大濱信泉』の生涯」

講師：喜舎場 大貴（大濱信泉記念館学芸員）

内容：大濱信泉氏（1891-1976）は石垣島出身で 1954 年から 1966 年まで早稲田大学の第 7 代総長を務めた。大濱氏が総長を務めた頃の沖縄は、米国の「統治下」に置かれた時代であった。大濱氏も早稲田大学総長の要職を兼任する傍ら、時には離れた東京の地から、また時には沖縄へ足を運び、沖縄に山積する様々な課題と向き合い続けた。本講座では、公文書や新聞記事等の記録、大濱氏自身の手記を辿りながら大濱氏が後世に残した言葉に着目して、沖縄の未来発展を希った思いを読み解いた。



第 572 回 文化講座

演題：「地下壕でつながる沖縄戦 —「もういくつもの沖縄戦」を探す試み—

講師：安藤 広道（慶應義塾大学文学部 教授）

内容：沖縄戦の舞台は、沖縄本島一帯だけでなく、沖縄に向けた特攻作戦も沖縄戦の一部であった。特攻作戦は、沖縄方面根拠地隊司令部と第 32 軍司令部から伝えられる沖縄の情報に基づき、神奈川県連合艦隊司令部と鹿児島県の第五航空艦隊司令部を中心に展開され、電信で相互につながっていた。本講座では別々に語られがちな地上作戦と特攻作戦を地下壕でつなぐことで、沖縄戦の語りの拡張を試みた。



V 博物館学芸員講座

1 学芸員講座の実施要項

(1) 趣旨・目的

博物館の展示内容に関する沖縄の自然・歴史・文化等について、学芸員が広い視点から分かりやすく講義・展示解説し、楽しく有意義な学習を通して、県民の意識の向上を図ることを目的とする。

(2) 内容

当博物館の自然史・人類・考古・歴史・美術工芸・民俗の各分野の担当学芸員が行う講義・展示解説、実技指導などを通して、県民各層が楽しく、より深く沖縄について学べるよう企画されている。

(3) 実施日と場所

実施日：毎月1回、土曜日 午後2時～4時までの2時間（講座により変更あり）

場 所：博物館講座室を基本とする

※8月の学芸員講座だけ金曜夕方（18：30～20：30）に行った。

(4) 受講方法

当日先着（80名）

2 学芸員講座の実施状況

回数	期日	演題	講師名	定員	参加者
1	4月13日（土）	遺跡から見た沖縄の墓と葬制 －先史・古代から中世まで－	山崎 真治	80	103
2	5月11日（土）	フィールドツアー 身近なカタツムリたちを探しに行こう！	菊川 章	20	21
3	6月8日（土）	新たに収蔵した琉球王国時代の家譜 ～毛姓家譜（譜久村家）、元姓家譜（知念家）、楊氏家譜（古堅家）～	崎原 恭子	200	105
4	8月9日（金）	琉球美術工芸の何だコレ！？ ～すごい！何で？どうやったの！？ な琉球美の世界～	伊禮 拓郎	80	35
5	9月7日（土）	石積みを持つグスクの特徴 －グスクに見られる積み石の加工石材を見る－	山本 正昭	200	130
6	10月12日（土）	美しい布 芭蕉布	篠原 あかね	80	55
7	11月9日（土）	芭蕉とシマの生活誌	大城 沙織	80	80
8	12月7日（土）	久米島町下地原洞穴遺跡に旧石器時代の人類活動痕跡を探る	澤浦 亮平	80	65
9	1月25日（土）	ジオツアーin 多良間村	新山 颯大	20	21
10	2月8日（土）	近代における首里王府文書の移動	大城 直也	80	60
11	3月1日（土）	ジオツアーin 伊平屋村 －古く硬い石の島と島人の生活－	宇佐美 賢 新山 颯大 嘉手納 知子	20	20

第1回 学芸員講座

演題：「遺跡から見た沖縄の墓と葬制 - 先史・古代から中世まで -」

講師：山崎 真治（人類担当学芸員）

内容：沖縄では古くからさまざまな形の墓が営まれてきた。本講座では、近年沖縄県立博物館・美術館が調査を実施した先史時代から中世に至る各時代の墓について各地の事例を紹介しつつ、沖縄における多様な葬制の展開について解説を行った。



第2回 学芸員講座

演題：フィールドツアー「身近なカタツムリたちを探しに行こう！」

講師：菊川 章（生物担当学芸員）

内容：沖縄は、知る人ぞ知るカタツムリが多く生息し、固有種・希少種の宝庫なのです。今回のフィールドツアーでは、沖縄島南部のカタツムリたちを紹介しながら、その魅力に迫った。身近な自然に潜む、個性豊かなカタツムリたちと一緒に探しに行った。



第3回 学芸員講座

演題：「新たに収蔵した琉球王国時代の家譜～毛姓家譜（譜久村家）、元姓家譜（知念家）、楊氏家譜（古堅家）～」

講師：崎原 恭子（歴史担当学芸員）

内容：琉球王国時代の家譜は、士（サムレー）の家に生まれた人物の出自や職歴等を記したものである。そのほとんどが、元祖と子孫のつながりを示す「世系図」と、記載された人物の勲功や職歴等を記す「記録」の2部構成となっており、いずれも琉球王国時代の歴史的事項や人々の生き方などを知ることのできる貴重な資料である。本講座では、令和3年～5年度に当館へ寄贈された、毛姓家譜（譜久村家）、元姓家譜（知念家）、楊氏家譜（古堅家）の内容について紹介し、これらに記載された琉球王国史もあわせて講演した。



第4回 学芸員講座

演題：「琉球美術工芸の何だコレ！？～すごい！何で？どうやったの！？な琉球美の世界～」

講師：伊禮 拓郎（美術工芸担当学芸員）

内容：琉球王国時代、漆器や紅型など様々な美術工芸品が作られ、それらは時代を超えて今なお多くの人を魅了している。しかし、琉球の美を言葉で表そうとすると、端的に表す言葉はまだ見つからない。もしかすると、私たちはまだ琉球の美の本質を理解できていないのかもしれない。本講座では、近年の調査研究や模造復元を通して見えてきた個別の事例を紐解きながら、琉球の美とは何か考えていく。



第5回 学芸員講座

演題：「石積みを持つグスクの特徴ーグスクに見られる積み石の加工石材を見るー」

講師：山本 正昭（考古担当学芸員）

内容：琉球列島各地域にはグスクと呼ばれる遺跡が300カ所以上分布している。その中でも、沖縄本島中南部地域に分布しているグスクには石積みを伴っているものが多く見られる。琉球では、14世紀中頃には石積みを高く積みようになり、最終的には高さ10m以上も積み上げるまで技術が向上した。それを可能にしたのが、石材を加工する技術だ。本講座では加工石材にスポットを当て、グスクの石積みの謎に迫った。



第6回 学芸員講座

演題：「美しい布 芭蕉布」

講師：篠原 あかね（美術工芸担当学芸員）

内容：今回の講座は、「芭蕉布展」の関連催事として開催した。

琉球の人々の装いを知るうえで、芭蕉布は欠かせない布だ。芭蕉布は、高温多湿な気候に適した風通しの良い素材で、庶民から身分の高い士族・王族まで幅広く身につけられた。

本講座では、前半に芭蕉布がどのような工程を重ねて制作されているのかを紹介し、後半はインターネットで展示と会場をつなぎ、リモートでの展示作品の解説を通して、芭蕉布の魅力を紹介した。



第7回 学芸員講座

演題：「芭蕉とシマの生活誌」

講師：大城 沙織（民俗担当学芸員）

内容：第6回と同じく「芭蕉布展」の関連催事として開催した。

芭蕉布は古くから琉球の人びとに親しまれ、身分の別なく着用されてきた。そのため、芭蕉布に関する歌や民話は各地域に残されている。本講座では各地域の芭蕉布を紹介しつつ、伝承や史料から芭蕉布に込められた思いや祈り、生活との関わりなどについて考えていった。また、講義の後半では、芭蕉布展の中から中継を行い、展示資料の解説を行った。



第8回 学芸員講座

演題：「久米島町下地原洞穴遺跡に旧石器時代の人類活動痕跡を探る」

講師：澤浦 亮平（人類担当学芸員）

内容：久米島町下地原（しもじばる）洞穴遺跡は、1980年代前半の発掘調査によって約18,000年前（更新世末期）の生後10か月程度の乳児の骨格が見つかったこと、そして多量の絶滅シカ化石が見つかったことがよく知られている。本講座では、当時発掘された化石の再検討と、2020年の現地踏査がきっかけとなって始まった再発掘の詳細や現時点での成果について、近年の沖縄周辺の更新世人類の調査研究を振り返りながら報告した。



第9回 学芸員講座

演題：「ジオツアー in 多良間村」

講師：新山 颯大（地質担当学芸員）

内容：1月の博物館学芸員講座は多良間村へ出張！

平らな島、多良間島には、どのような地層や岩石があるのか、現在の多良間島からは想像しにくい過去の姿を語る島内の地層・岩石を観察して、島の長い歴史をジオツアーの参加者と一緒に探った。



第10回 学芸員講座

演題：「近代における首里王府文書の移動」

講師：大城 直也（歴史担当学芸員）

内容：琉球王国時代、国家を運営するにあたり多くの文書が発給された。それら王府文書は、首里城内に保管されていた。しかし、1879年（明治12）「琉球処分」のとき、首里城が明け渡されたと同時に王府文書はいくつかに分散する。本講座では、分散した王府文書がどのような行方をたどったか、その歴史的な動向を紹介した。



第11回 学芸員講座

演題：「ジオツアー in 伊平屋村 —古く硬い石の島と島人の生活—」

講師：宇佐美 賢（博物館班班長・地学）

新山 颯大（地質担当学芸員）

嘉手納 知子（伊平屋村教育委員会主事）

内容：伊平屋島と野甫島を特徴づける地形・地質と、自然と人との関わりを学ぶことができる代表的なジオサイトを巡った。沖縄県内最北端の島（有人島として）を訪れ、島の成り立ちと自然との関わりなど、伊平屋島・野甫島の新たな魅力を紹介した。



VI 博物館常設展展示解説会

1 展示解説会の実施要項

(1) 趣旨・目的

博物館の展示内容に関する沖縄の自然・歴史・文化等について、学芸員が広い視点から分かりやすく講義・展示解説し、楽しく有意義な学習を通して、県民の意識の向上を図ることを目的とする。

(2) 内容

当博物館の自然史・人類・考古・歴史・美術工芸・民俗の各分野の担当学芸員が行う講義・展示解説を通して、県民が楽しく、より深く沖縄について学ぶことができる。

(3) 実施日と場所

実施日：毎月1回、基本木曜日 14：00～15：00 までの1時間

場 所：博物館常設展示室

(4) 受講方法

定員 15 名（13：30～ふれあい体験室前にて受付）

2 展示解説会の実施状況

常設展の展示解説会は、展示資料を前に解説パネルだけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介。

回数	期日	分野	講師名	定員	参加者
1	4月11日（木）	美術工芸	篠原 あかね	15	15
2	5月9日（木）	民 俗	大城 沙織	15	15
3	6月6日（木）	人 類	山崎 真治	15	15
4	7月11日（木）	歴 史	崎原 恭子	15	15
5	8月8日（木）	生 物	菊川 章	15	19
6	9月5日（木）	考 古	山本 正昭	15	14
7	10月10日（木）	地 学	宇佐美 賢	15	15
8	11月7日（木）	人 類	澤浦 亮平	15	15
9	12月5日（木）	美術工芸	伊禮 拓郎	15	15
10	1月9日（木）	歴 史	大城 直也	15	15
11	2月6日（木）	地 質	新山 颯大	15	15
12	3月6日（木）	教育普及	平川 信幸	15	14

VII バックヤードツアー

1 バックヤードツアーの実施要項

(1) 趣旨・目的

博物館が持つ、調査・研究・保存の機能を担う収蔵庫や各部屋を学芸員が分かりやすく解説し、普段見る事のできない博物館の機能の見学を通して、文化財への県民の意識向上を図る事を目的とする。

(2) 内容

普段見ることができない博物館内の各部屋を見学する。

(3) 実施日と場所

実施日：毎月1回、今年度は基本第4土曜日 14:00～15:00までの1時間

場 所：博物館バックヤード

(4) 参加方法・定員

参加方法：開催1週間前より電話・総合案内で受付

定 員：12名（事前申込）

2 バックヤードツアーの実施状況

バックヤードツアーは学芸員が講師を務め、より専門性を活かした内容とリピーターづくりを目指している。安全性を考慮し、学芸員と指定管理者スタッフの2名体制で臨んだ。学芸員研究室、研究資料室（書庫）、自然史実験室、トラックヤード、写真撮影室、冷凍室、工作室を基本コースとし、収蔵庫は専門分野を中心に案内した。また、建物の構造やIPM（Integrated Pest Management：総合的有害生物管理）の取り組み、資料の修復等について解説するなど、博物館の役割や使命を理解しやすくする工夫をしながら実施した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を2名減としていたが、8月から定員数を戻し12名までとした。

回数	期日	分野	講師名	定員	参加者
1	4月27日（土）	歴史	崎原 恭子	10	10
2	5月25日（土）	考古	山本 正昭	10	11
3	6月22日（土）	美術工芸	伊禮 拓郎	10	8
4	7月27日（土）	美術工芸	篠原 あかね	10	11
5	8月24日（土）	生物	菊川 章	12	12
6	9月28日（土）	人類	山崎 真治	12	12
7	10月26日（土）	地質	新山 颯大	12	12
8	11月23日（土）	地学	宇佐美 賢	12	12
9	12月21日（土）	人類	澤浦 亮平	12	10
10	1月25日（土）	歴史	大城 直也	12	12
11	2月22日（土）	民俗	大城 沙織	12	12
12	3月22日（土）	教育普及	平川 信幸	12	12

Ⅷ 夏休み！こどもフェスタ 2024

1 夏休み！こどもフェスタの実施要項

(1) 趣旨・目的

学芸員が、夏季休暇中の児童生徒を対象に、沖縄の自然、歴史、文化に関する自由研究や調査研究等について、可能な限り博物館の情報を提供し、郷土への興味・関心を高める。

(2) 内容

総合・部門展示、ふれあい体験室、情報センターなどの博物館の機能を紹介し、博物館を通じた沖縄の自然、歴史、文化について子ども向けの教室を行う。

(3) 実施方法

- ①対 象 県内の小学生・中学生
- ②実施日 令和6年7月24日（水）から7月26日（金）まで
- ③時 間 10：00～16：30 ＊1教室およそ90分程度
- ④定 員 各分野8～20名程度（事前申込制） ＊教室によって変更あり
- ⑤参加料 無料 ※材料費は実費・・・講座により異なる。
- ⑥材料費 受講分野により参加者負担あり。
- ⑦場 所 実習室を中心に行う。
7月26日（金）10：00～11：30 歴史⑥ 館外（牧志～崇元寺近辺）

(4) 受講方法

- ①各分野の担当学芸員の日程表をチラシ等で表示し、参加者を募る。
- ②事前申込制 ※応募者多数の場合抽選
- ③各担当学芸員の指示のもと、諸注意を守り受講する。



① チラシ表



②チラシ裏

2 夏休み！こどもフェスタ 2024

期日・教室内容・講師	参加
【7月24日（水）】 ① 『香りを聞こう！香り袋と聞香体験』 伊禮 拓郎【 美工 】 ② 『考古学者体験』 山本 正昭【 考古 】 ③ 『洞窟遺跡の堆積物を調査せよ！』 澤浦 亮平【 人類 】	16名 4名 8名
【7月25日（木）】 ④ 『貝のアクセサリ作り』 山崎 真治【 人類 】 ⑤ 『身近なカタツムリの不思議にせまってみよう！』 菊川 章【 生物 】	10名 15名
【7月26日（金）】 ⑥ 『地図を持って歩こう 那覇の町』 大城 直也【 歴史 】 ⑦ 『オリジナルの家系図をつくろう！』 崎原 恭子【 歴史 】	8名 8名

1日目

7月24日（水）

- ① 伊禮 拓郎 『香りを聞こう！香り袋と聞香体験』
工芸品を実際に使用しながら香り文化について学んだ。



- ② 山本 正昭 『考古学者体験』
土器や石器、貝製品といった本物の出土物に触れた。



- ③ 澤浦 亮平 『洞窟遺跡の堆積物を調査せよ！』
洞窟遺跡の堆積物にはいろいろなモノが入っており、さまざまな遺物を発見した。



2日目

7月25日(木)

- ④ 山崎 真治 『貝のアクセサリー作り』
旧石器人の貝のアクセサリーを作った。



- ⑤ 菊川 章 『身近なカタツムリの不思議にせまってみよう!』
身近なカタツムリについて解説し、殻標本を使って立体図を作った。

**3日目**

7月26日(金)

- ⑥ 大城 直也 『地図を持って歩こう 那覇の町』
琉球王国の地図を見ながら町を歩き王国から現代までの変化を現地で学んだ。



- ⑦ 崎原 恭子 『オリジナルの家系図をつくろう』
身近な家族の広がり等を調べて家系図をつくり、自由研究のヒントを見つけた。



IX ふれあい体験室

1 ふれあい体験室の概要

(1) ふれあい体験室の位置づけと目的

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている“おきなわ”との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は、常設展示として、総合展示・部門展示と補完しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を併せ持っている。

さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。

(2) 体験キットの位置づけ

展示物（体験キット）は、沖縄の「自然のしくみ」と「先人の知恵」に触れる・見る・聞くなどの五感で体感できる操作や組立てなどの遊びを通じて、展示資料を深く学ぶことができる。

体験キットは、教育普及資料として位置づけられるもので、沖縄の自然、考古、歴史、美術工芸及び民俗などの内容に基づき、すべてが触れることのできるものとする。

体験キットは、来館者が資料に触れあうことで目的が達成するものとして準備されている。来館者が自主的に触れることができるようにするために、職員や親子、一般の方々といった様々な人が参加する雰囲気作りを心がけていく。ふれあい体験室では、能動的に“沖縄の「自然のしくみ」や「先人の知恵」”を発見・再発見することができる展示を行う。

(3) ふれあい体験室・体験キットの対象者

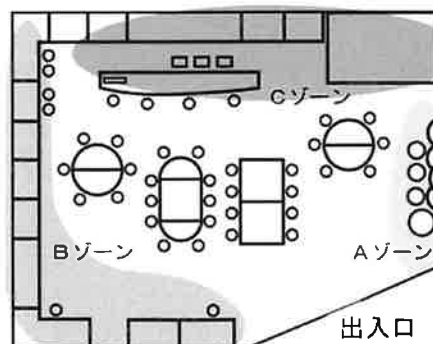
基本的に小学校中学年（3年生以上）を対象とする。しかし、テーマに沿った展示手法の工夫により、幼児から就学年齢の子ども、または大人にとっても楽しめる空間創りを目指す。

(4) 体験キットの分類

ふれあい体験室は、自由に体験キットを利用することを基本としている。しかし、体験キットによっては安全性や耐久性の面で使用時の注意や制限がかかるものもある。ふれあい体験室では、体験キットを分類し、配置されているゾーンによって、使用制限のランクを分けている。

体験キットグループ	キットの種類	来館者への使用制限
グループ A	【見る・触る】 ・直感的に「一見して」内容が分かる。 ・安全性、耐久性が高い	・来館者は自由に出し入れできる。 ・来館者によっては手助けが必要。
グループ B	【聞く・比べる・聞ける・押す】 ・簡単な操作で内容が分かる。 ・安全性がある程度確保されていて、耐久性が高い	・来館者は自由に出し入れできるが、 ・来館者によっては手助けが必要な場合もある
グループ C	【組み立てる・作る・分類する】 ・作業を請じて仕組みや内容が分かる。 ・壊れやすい部品や安全面での指図、管理を要する ・破損、磨耗しやすい等、耐久性が低い	・スタッフを介してキットを受け渡し、 介助を得ながら、もしくは目の届く範囲で利用する。 ・来館者によっては手助けが必要ない場合もある

見取り図（ゾーニング図）



2 体験キットの種類

No.	タイトル	分野	小テーマ	中テーマ	大テーマ	備考	
1	サインを見のがすな!	自然史	きみはだあれ?	生物界	自然のしくみ・先人の知恵	平成19年度製作	
2	小さな生き物の大きな仕事						
3	耳をすませば						
4	この骨だれの?						
5	サンゴと生きる						
6	いろいろなタネ		自然のすがた				
7	いろいろな木と草						
8	いろいろな石と砂						
9	見える星座・見えない星座		考古	地下にねむる 歴史のなぞ			地史
10	化石 ～生きていたあかし～						
11	港川人研究所						
12	土層と遺物からわかること	民俗	食の知恵	人々の暮らし			
13	石で築く						
14	ヌチグスイ						
15	イノー ～海の食料庫～						
16	御三味(ウサンミ)	美術工芸	食の習わし 生活のくふう 沖縄のコトバ	シマの心			
17	いろいろな道具						
18	島々のコトバ						
19	いろいろな玩具						
20	いろいろな楽器	歴史	色のひみつ ・形のふしぎ	国のかたち			
21	衣からわかること						
22	焼物 ～かたちのわけ～						
23	漆 ～飾るたのしみ～						
24	印かんってなあに?	自然史	国のかたち	国のかたち			
25	島のかたち						
26	記録のくふう						
27	国々とのおつきあい						
28	サンゴとカッチュウソウの深～い仲	美術工芸	沖縄県立博物館・美術館魅力アップ事業 「ふれあい体験室機能強化事業」実施における 体験キットとして製作	平成27年度 製作			
29	コロコロ生態系						
30	岩石観察						
31	化石組み立て体験						
32	緋のしくみ	民俗	国のかたち	国のかたち			
33	三線のかたち①・②						
34	仁王像						
35	ウチナーの昔話						
36	チュンジー	歴史	国のかたち	国のかたち			
37	万国津梁の鐘						

※平成29年度に製作した開館10周年記念特別展「海の沖縄」関連体験キットは、ふれあい体験室の体験キット登録を解除し、貸出用教育普及資料として利用。



No. 13 「石で築く」



No. 18 「島々のコトバ」

3 ふれあい体験室の運営状況

(1) 今年度の運営状況

感染症対策として昼に消毒のための休室時間を設けていたが、新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻ったため県と指定管理で協議の上、夏期休暇の開始と共に休室時間を廃止した。但し、予防対策として入室時の手指消毒と展示物の消毒は継続している。また混雑時の安全管理として、ベビーカー置き場や荷物置き場を配置し、破損しやすい展示物には結界をする対策をした。またユニバーサルデザインを意識して、ふれあい体験室のサインや利用案内を見やすく変更した。

さらに、修繕が必要な展示物の内、4点の展示キットの修繕を行った。

今年度の来場者数は、3月23日時点で69,154名（1日平均231名）となっている。



利用案内掲示板



ふれあい体験室内の様子

(2) スタッフの配置状況

ふれあい体験室は常駐の職員1名（沖縄美ら島財団）と博物館ボランティアスタッフで運営を行っている。職員は常勤スタッフ1名とアルバイトスタッフ8名を配置している。内2名は新規スタッフとして新たに採用し、1月から1カ月の研修を行った。また、ゴールデンウィークや夏期中の混雑時期にはアルバイトスタッフを2名体制で配置し、来場者と展示物の安全管理を徹底した。

4 ふれあい体験室の取組み

(1) ふれあい体験室ワークショップ

ふれあい体験室の体験キットや展覧会の充実および関心を高めることを目的として、毎週土曜日にワークショップを実施している。今年度は季節ごとに4つのプログラムを開催した。今年度の新たな取り組みとして、ワークシートを制作しワークショップの学びをより深める工夫と、さらにおきみゅー初の英語のワークショップを実施した。また、秋期と冬期のプログラムでは、新規のワークショップを開発し新たな集客に繋げた。昨年度から引き続き、各プログラムに参加するごとにスタンプを集めることができる「スタンプラリーカード」も実施。景品を一新し、リピーターにも集める楽しさを提供することができた。

そして、ワークショップの材料セットを商品化した「ふれあい体験室てづくりおもちゃ」をミュージアムショップゆいむいにて販売。内容を見やすく修正し、自宅でも体験できるキットとして好評いただいている。

場 所：ふれあい体験室前エントランスホール
講 師：藤田 早苗、金城 絵舞、照屋 りずむ、Alice Register
対 象：5歳から大人まで（小学生以下は保護者同伴）
開催日数：50日
参加者数：718名（一日平均14.3名） ※3月22日現在
主 催：一般財団法人 沖縄美ら島財団

① 4・5・6月「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

内 容：体験キット No.19「いろいろな玩具」に関連して、沖縄の昔ながらの草編み玩具を画用紙やソフトテープを使って制作した。

日 時：2024年4月～6月の毎週土曜日（全11回）

①10:00～11:00「馬グラー」

②11:00～12:00「ハブグラー」

定 員：事前申込18名（各回9名）

参加費：500円

参加者数：149名（1日平均13.5名）



② 7・8・9月「ふれたい博士の貝がらでコマあそび！」

内 容：体験キット No.15「イノー～海の食料庫～」に関連して、マガキガイの貝殻を使って昔のてづくりおもちゃ「カイガラコマ」を制作した。

日 時：2024年7月～9月の毎週土曜日（全13回）

①10:00～11:00／②11:00～12:00

※8月3日、24日 14:00～15:00 英語ワークショップ

定 員：事前申込18名（各回9名）

参加費：500円

参加者数：174名（1日平均13.4名）



③10・11・12月「手織りプレスレットづくり」

内 容：体験キットNo.21「衣からわかること」に関連して、ダンボールでできた簡易織り機を使って「手織りプレスレット」を制作した。「平織り」の体験を通して、経糸と緯糸からできる織物の仕組みを学ぶ。

日 時：2024年10月～12月の毎週土曜日（全15回）

①10:00～11:00／②11:00～12:00

※11月2日、30日、12月7日 14:00～15:00 英語ワークショップ

定 員：事前申込18名（各回9名）

参加費：500円

参加者数：194名（1日平均12.9名）



④1・2・3月「沖縄のおまもりサンストラップづくり」

内 容：博物館常設展の民俗部門に関連して、沖縄に昔から伝わるお守りや魔除けについて学びながら、“サン”と天然石のお守りストラップを制作した。

日 時：2025年1月～3月の毎週土曜日（全11回）

①10:00～11:00／②11:00～12:00

定 員：事前申込18名（各回9名）

参加費：500円

参加者数：201名（1日平均18.3名）



X ボランティア養成事業

1 目的

沖縄県立博物館・美術館は県民の自己啓発や学習の場の提供、また、博物館支援活動を目的として「ボランティア」を導入している。この活動は、多様化する来館者のニーズに対して、よりきめ細かく適切なサービスへの寄与を目的としている。

2 ボランティアの活動内容

(1) ボランティアの種類

博物館ボランティア

(2) 活動の種類・活動内容

博物館ボランティア	
□博物館ボランティア	
①展示解説ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、一般団体向け常設展示解説補助 (主に学習プログラム対応) ・総合展示部門、各部門展示解説補助
②体験学習サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・学校団体、教職員向け講座対応：誘導, 民具体験学習の支援 ・ふれあい体験室支援：ふれあい体験室における活動支援 ・体験学習教室支援：体験学習・各種講座 ・移動展等における補助 ・各種行事の際の補助
③資料整理活動	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞スクラップ等
④その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア間の連絡 ・各種刊行物の発送業務 ・沖縄美ら島財団(指定管理者)主催催事支援 ・ふれあい体験室ワークショップ支援 ・ふれあい体験室 I P M 清掃 <p>※原則：毎月第4月曜日 13:20～</p>
■総合展示ガイドボランティア	
※博物館ボランティアのうち、ガイドライセンス保持者	
①案内型ガイド	<ul style="list-style-type: none"> ・総合展示部門解説ガイド(学校団体/一般来館者) <p>対象：県外高校(修学旅行)、大学、専門、一般【指定管理対応】 県内少人数校(離島、へき地、特別支援学級)【県対応】 ※県内小・中・高校へのガイドは行わず自由見学とする</p>
②待機型ガイド (ジンプンBOX)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合展示部門における展示解説
■収蔵資料整理ボランティア	
①収蔵資料等の整理活動	<ul style="list-style-type: none"> ・収集資料の整理 ・未整理資料の整理 ・その他

※ふれあい体験室専属ボランティアは、令和2年度より博物館ボランティアへ統合。

博物館ボランティア(第10期) 募集要項

沖縄県立博物館・美術館では、地域の方々へ自己啓発の場を提供するとともに、博物館活動の活性化、来館者へのサービス向上、多様化するニーズへの対応を目指し博物館ボランティア(第10期)を募集します。

1 活動内容・募集人数

博物館ボランティア(主に平日活動)

50名募集

- ① 学校団体対応 主として
 - ・学習プログラム(民具体験学習)において、民具体験サポート、展示物解説、誘導係などを行う。
- ② 体験学習サポート
 - ・ふれあい体験室来館者へのサポート・こどものフェスタの体験サポートなどを行う。
- ③ 資料整理活動
 - ・新聞スクラップ整理・各種刊行物発送作業サポートなどを行う。

2 応募資格・条件など

- ・令和6年4月1日現在満18歳以上の方(高校生を除く)で博物館活動に興味・関心のある方。
- ・各種研修(養成講座7回)すべてを受講できる方。
- ・登録後、月に6時間程度、当館においてボランティア活動ができる方。

3 受講料

- ・無料

4 登録と活動

博物館ボランティア(主に開館日に活動)

- ・博物館ボランティア養成講座修了者 → 博物館ボランティアへ登録(7月)
- ・登録期間令和6年7月～令和7年3月31日(一年度毎の更新。継続更新可)

5 応募期間及び方法

令和6年3月1日(金)～3月31日(日)

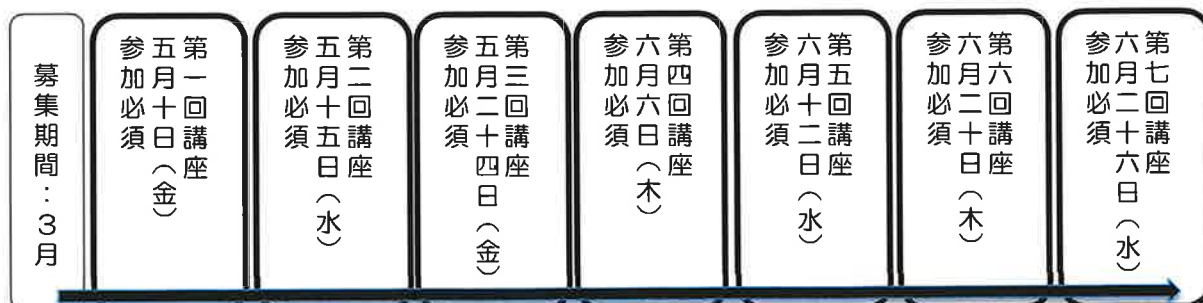
申込用紙に必要事項を記入の上、FAX、郵送、来館のいずれかで。

問合せ先 Tel(098)941-8200 FAX(098)941-2392

沖縄県立博物館・美術館(沖縄美ら島財団 担当:教育普及担当)

受付:9:00～18:00(月曜日を除く)

6 ボランティア登録までの流れ



第10期 博物館ボランティア養成講座 内容及び会場

博物館ボランティア各位、任意での参加 OK です。ふるってご参加下さい。

※いつれの講座も13：30受付開始

講座① 5月10日(金)・・・・・・・・・・博物館講座室

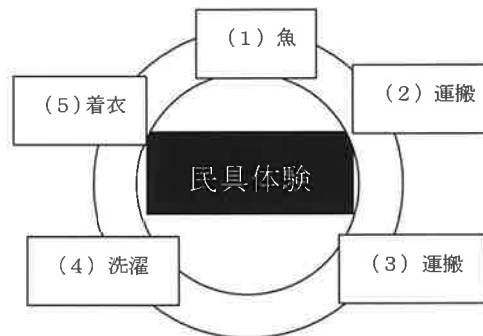
- (1) 14：00～14：45 【開校式】教育普及担当
- (2) 15：00～15：30 【博物館活動について】博物館班長
- (3) 15：30～16：00 【IPMについて】IPM 担当

講座② 5月15日(水)・・・・・・・・・・博物館講座室

- (1) 14：00～14：50 【人類分野ガイダンス】
- (2) 15：00～15：50 【民俗分野ガイダンス】

講座③ 5月24日(金)・・・・・・・・・・博物館講座室

- (1) 14：00～14：50 【ボランティア実習】
- (2) 15：00～15：50 【歴史分野ガイダンス】



講座④ 6月6日(木)・・・・・・・・・・博物館講座室

- (1) 14：00～14：50 【生物分野ガイダンス】
- (2) 15：00～15：50 【地質分野ガイダンス】

講座⑤ 6月12日(水)・・・・・・・・・・博物館講座室

- (1) 14：00～14：50 【考古分野ガイダンス】
- (2) 15：00～15：50 【美術工芸分野ガイダンス】

講座⑥ 6月20日(木)・・・・・・・・・・博物館講座室

- (1) 14：00～14：50 【総合展示室案内 座学】
- (2) 15：00～15：50 【総合展示室案内 展示解説】

講座⑦ 6月26日(水)・・・・・・・・・・博物館講座室

- (1) 14：00～14：50 【養成講座修了証交付式】

(趣旨)

第 1 条 沖縄県立博物館・美術館は、博物館が行う教育普及活動または研究資料の収集・整理・充実を図るため、その活動の補助員としてボランティア（以下「博物館ボランティア」という。）を置くことができる。

(博物館ボランティアの活動)

第 2 条 博物館ボランティアは、次の各号に掲げる活動を行う。

- (1) 展示解説、文化講座、体験学習教室、ふれあい体験室、相談室における対応等の教育普及活動全般にわたる補助的活動。
- (2) 調査研究等を推進するために必要な資料の収集に関し、専門知識を生かした補助的な活動。

(登録等)

第 3 条 博物館ボランティアの登録は、博物館ボランティア講座の修了者、沖縄博物館友の会の会員、博物館ボランティア活動を希望する者で、登録票(第 1 号様式)により申請のあった者の中から、沖縄県立博物館・美術館館長(以下「館長」という。)が審査のうえ適当と認められる者について、登録簿(第 2 様式)へ登載を行う。

- 2 館長は登録を受けた博物館ボランティアに対し、博物館ボランティア登録証(第 3 号様式)を交付する。
- 3 登録期間は、登録した日の属する年度の末日までとする。但し、当該博物館ボランティアが希望する場合は審査のうえ登録を更新することができる。
- 4 館長は博物館ボランティア登録者に博物館の名誉を傷つける等の行為があった場合は、登録を取消すことができる。

(研修)

第 4 条 館長は博物館ボランティアの活動が効果的にすすめられるよう、随時研修会を開催する。

(ボランティア室の設置)

第 5 条 館長は博物館ボランティア活動の連絡及び相互交流の場として、ボランティア室を設置する。

(庶務等)

第 6 条 博物館ボランティアの登録は、博物館教育普及担当において処理する。

- 2 博物館ボランティア活動の連絡調整は、博物館教育普及担当と沖縄博物館友の会において処理する。

(雑則)

第 7 条 この要項に定めるもののほか博物館ボランティア活動の実施に必要な事項は、館長が別に定める。

付則

- この要項は、平成 5 年 7 月 1 日から実施する。
この要項は、平成 12 年 8 月 1 日から実施する。
この要項は、平成 20 年 2 月 13 日から実施する。



園原 謙 (美術工芸担当)

コアな博物館ファンがボランティアの皆さん

2007年に開館して17年目。戦後79年の歴史とともに歩んできた博物館は、戦後沖縄の教育文化の向上に努めてきました。旧館時代から博物館活動をもっとも身近で応援し、励ましてくれたのが博物館ボランティアの皆さんです。博物館という器に、いかに多様で美味しい食物を装うかが学芸員の仕事ですが、ボランティアの皆さんの活動は豊かな彩りを与え、戦後の教育文化の復興に尽力した先人たちの志と同一で、心より敬意と感謝を申し上げます。




速真利 耕平 (学芸補助)

1年間という短い期間でしたが、多くの知識を吸収することができました。当館で働き始めて沖縄の歴史や文化の奥深さを改めて気付き、自然史について興味を示すようになりました。慣れない仕事がたくさんありましたが多くの人たちの支えにより、仕事を充実させることができました。当館で勤務した経験は一生忘れられません。この経験を今後の自分に活かしていきたいです。

照屋 杏奈 (教育普及補助)

博物館員の皆さんに対しては様々なことを教えてくださりありがとうございました。この度、3月末で教育普及補助の仕事を退職することになりました。ボランティアの皆さんには、博物館活動に対する熱意や思いやりを心動かされ、3年間仕事を始めることができました。ありがとうございます。




私が勤めた最初の年は、コロナ禍真っ只中のスタートでした。徐々に活動が再開してからは、ボランティアの皆さんの有難みを実感する日々でした。ふれあい体験室での人数制限が解除された時は、ボランティアさんの生き生きとした姿と子ども達で賑わう様子を見て、ボランティア活動が再開できた事に感動したことが今でも印象に残っています。ボランティアの皆さんと博物館で出会い、一緒に博物館活動を盛り上げるサポートをすることが出来て、本当に良かったです。今後も博物館への変わらぬご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

5月1日発行 第198号 (R6年5月)

ボランティア通信

沖縄県立博物館


沖縄県立博物館・美術館
博物館班 (直通)
TEL: 098 - 851 - 5401
FAX: 098 - 941 - 3650



令和6年度 博物館班メンバー紹介

館長	里井 洋一	人類	山崎 真治	山本 正昭
副館長	親富 相 ちか	人類	澤浦 亮平	大城 沙織
班長	宇佐美 賢	地学	新山 颯大	大湾 ゆかり
歴史	崎原 恭子	生物	蜀川 章	平川 信幸
歴史	大城 直也	事務補助	大庭 ひろみ	城間 智子
美術工芸	篠原 あかね			
美術工芸	伊禮 拓郎			
学芸補助	勝連 涼子			

博物館ボランティア	44名
資料整理ボランティア (学芸専属)	33名



令和6年度 ボランティア登録者

お知らせ① ボランティア連絡会の開催について

【日程】 令和6年5月14日 15:00~

【場所】 博物館講堂

【対象】 各曜日の班のお世話係、分野別勉強会の代表

お知らせ② ボランティア養成講座実施について

5月より「令和6年度博物館ボランティア養成講座」を実施します。今月のボランティア通信には、実施要項と申込書を同封しております。講座の詳細について、受講を検討されている皆様は、資料のご確認をお願いいたします。(未受講ボランティア優先)

日程	実施内容	場所
5月10日(金) 14:00~16:00	●開講式 ●博物館活動について ●IPM(環境保全)について	講座室
5月15日(水)	●人類分野ガイダンス	
14:00~15:50	●地質分野ガイダンス	
5月24日(金)	●ボランティア実習①	
14:00~15:50	●歴史分野ガイダンス	



お知らせ③ 5月の教育普及関連行事

日程	内容	場所
5月11日(土)	学芸員講座(生物) フィールドツアー 「身近なカタツムリを探しに行こう!」 講師: 須川 章(生物担当)	南城市
5月18日(土) 14:00~	文化講座(生物) 「沖縄のヤモリトカゲのはなし」 講師: 戸田 守 (琉球大学 熱帯生物園研究センター 准教授)	3階講座室

お知らせ④ ボランティア募集

ご希望の募集内容がありましたら、ボランティア室に掲示している募集用紙にお名前のご記入をお願いします。ガイド・民具体験については、当日打合せを行います。詳細については、ボランティア室の募集用紙にてご確認をお願いします。

日程	募集内容	募集人数
5月16日(木)	射入作業 書類封入作業です。	各10名
5月17日(金) 9:00~12:00		
5月24日(金) 9:30~10:40		
5月27日(月) 13:20~	少人数離島ガイド 宮古島市立城辺小学校 6年生6名 5年生12名 ふれあい体験室 IPM清掃 展示室のほこり落としなどの作業	4名
5月24日(金) 14:00~15:50	民具体験ボランティア講座 初:5/19(日) 当日の見学人数20名程度	5名程度
6月7日(金) 15:10~16:50	少人数離島ガイド 海星小学校 6年生14名	10名
		4名

※催し問合せ・申込: TEL. 098-941-8200 (県立博物館・史跡館 代表)

お知らせ⑤ メールアドレスの変更について



令和6年度より、ボランティア連絡用のメールアドレスを変更いたします。それに伴い、令和5年度まで使用していたアドレス(hakubora5401@gmail.com)は廃止いたします。今年度以降、ご連絡の際は以下のアドレスまでお願いいたします。

変更後のメールアドレス

okihaku311@gmail.com

※令和5年度までのアドレス(hakubora5401@gmail.com)にご連絡された場合、対応できない可能性があります。ご了承ください。



博物館班 責任のあいさつ

博物館班には4月から3名の職員が仲間入りしました！みなさま、どうぞよろしくお願いたします。



【歴史】大城 直也 (おおしろ なおや)

本年度、歴史担当学芸員として採用されました大城直也と申します。専門は琉球史を勉強しています。史資料を通して沖縄が持つ歴史文化の魅力を発信していきたいように頑張ります。

【学芸補助】勝連 涼子 (かつれん りょうこ)

みなさん、こんにちは。
博物館の学芸業務補助員として4月から勤務いたします。勝連涼子です。
博物館での勤務は、1年ぶりとなります。初めましての方も、ボランティアさんとも、よろしくお願いたします。

【教育普及補助】城間 智子 (しろま ともこ)

4月から教育普及補助として勤務いたします。城間智子です。博物館実習の頃からずっと、沖縄県立博物館で勤務するのが夢でした。博物館で働くのは初めてですが、よろしくお願いたします。

6月1日発行 第199号(R6年6月)

博物館 ボランティア 6月号

沖縄県立博物館・美術館
博物館班 (直通)
TEL: 098-851-5401
FAX: 098-941-3650




お知らせ① ボランティア連絡会の開催について

【日程】令和6年6月25日
 【時刻】15:00～16:00
 【場所】博物館講義室
 【対象】各曜日班のお世話係、分野別勉強会の代表

お知らせ② ボランティア養成講座実施について

「令和6年度博物館ボランティア養成講座」を実施します。
 日程は以下の通りです。(未受講ボランティア優先)

日程	実施内容	場所
6月6日(木) 14:00～15:50	●生物分野ガイダンス(講師:菊川 章) ●地質分野ガイダンス(講師:新山 颯太)	博物館 講義室
6月12日(水) 14:00～15:50	●考古分野ガイダンス(講師:山本 正昭) ●美術工芸分野ガイダンス (講師:篠原 あかね・伊禮 拓郎)	
6月20日(木) 14:00～15:50	●ボランティア実習②(総合展示室内案内 展示解説)	
6月26日(水) 14:00～14:50	●ボランティア実習③(総合展示室内案内 展示解説) ●養成講座修了証交付式	

博物館ボランティア通信 第199号(R6年6月)

お知らせ③ 6月の教育普及関連催事


日程	内容	場所
6月8日(土) 14:00～16:00	学業員講座(歴史)※当日受付 「新たに収蔵された琉球王国時代の家譜 ～毛姓家譜(柳久村家)、元姓家譜(知念家)、堀氏家譜(古賀家)～」 定員:80名 講師:崎原 森子(歴史担当)	1階講義室
6月15日(土) 14:00～16:30	文化講座(歴史)※当日受付 「『墓園新地図(とびんごらうず)』の世界 ～琉球王国の海上交通を探る～」 講師:山田 浩世(沖縄県立芸術大学准教授) 定員:200名 黒嶋 敏(東京大学史料編纂所教授)	3階講堂

お知らせ④ ボランティア募集

ご希望の募集内容がありませんら、ボランティア室に掲示している募集用紙にお名前のご記入をお願いします。ガイド・民具体験については、当日打合せを行います。詳細については、ボランティア室の募集用紙にてご確認をお願いします。

日程	募集内容	募集人数
6月20日(木) 14:00～15:50	総合ガイドボランティア講座 〆切:6/16(日) ボランティア養成講座受講者(20名程度)に向けて、 総合展示室の展示解説を行います。	5名
6月24日(月) 13:20～	ふれあい体験室 IPM 清掃 展示室のほこり落としなどの作業	5名程度

※庶務問合せ・申込: TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)



お知らせ⑤ 夏休み！こどもフェスタ2024 ボランティア募集について

今年度は下記の日程で開催する予定です。ボランティアの皆さまには、当日のサポートをお願いするため、事前の勉強会へのご参加をお願いいたします。本行事が子ども達にとって充実した学びの場となるよう、ご協力のほど、お願いいたします。

●ボランティア募集期間
・6月14日(金)～6月30日(日)まで

●申込についてのお問い合わせ

(1) ボランティア活動の場をできるだけ多くつくるため、「1人2教室」までの申込とします。
※希望者が偏った場合は抽選となり、期日を過ぎても募集人数に達していないものは、再募集をかけます。再募集の場合は「1人2教室」の限定を外すものとしません。

(2) 一部のプログラムを除いて、本番の一週間前頃から事前勉強会を行います。参加費用徴収へのご理解とご協力をお願いいたします。

(3) 希望者は、電話(博物館班:098-851-5401)またははメール(akihaku311@gmail.com)でご連絡下さい。



●フェスタの日程

時間	7月24日(火)	7月25日(木)	7月26日(金)
10:00～	伊禮 拓郎(美術工芸) 「香りを聞こう！」	山崎 真治(人類) 「旧石器時代の 貝のアクセサリー作り」	大城 直也(歴史) 「地図を持って歩こう 那覇の町」
11:30	ボランティア4名 (出張分だけ未履修者)	ボランティア1～2名	ボランティア2～3名
実習室	山本 正昭(考古) 「考古学書体験」	ボランティア4名	
13:00～	澤浦 順平(人類) 「洞窟遺跡の堆積物を 調査せよ！」	菊川 幸(生物) 「身近なカタツムリの 不思議にせまってみよう！」	崎原 恭子(歴史) 「オリジナルの家系図を 作ろう！」
14:30	ボランティア4名	ボランティア2～3名	ボランティア募集なし
実習室			

●事前勉強会の日程

時間	7月12日(金)	7月18日(木)	7月19日(金)
10:00～	伊禮学芸員 材料費1000円	山本学芸員 材料費 無料	山崎学芸員 材料費 無料
14:00～	澤浦学芸員 材料費 無料		



ご報告① ボランティア(第10期)養成講座開始！

5月10日より「博物館ボランティア(第10期)養成講座」がスタートしました。ボランティア第10期の申込者は21名です。
当日は平川学芸員による開講式が行われ、その後は宇佐美班長による博物館活動についての講座、大滝学芸員によるIPWについての講座がありました。
養成講座は、5月から6月までの計7回を予定しています。
今後も養成講座の様子をお伝えしていきます！



▲開校式の様子(平川学芸員)



▲『博物館活動について』(宇佐美班長)



▲IPW 講座(大滝学芸員)

7月1日発行 第200号(R6年7月)

ボランティア

ア通信

7月

沖縄県立博物館・美術館
 博物館班 (直通)
 TEL: 098-851-5401
 FAX: 098-941-3650



ついに200号!

お知らせ① 全体燻蒸・消毒について

燻蒸消毒に伴うメンテナンス休館

7月1日(月)～7月10日(水)まで

※メンテナンス休館中は燻蒸ボランティアをのぞき入館できません

- ・燻蒸ボランティア(養生)…7/2(火) 9:00～12:00
- ・燻蒸ボランティア(回復)…7/9(火) 9:00～12:00

お知らせ② ボランティア連絡会の開催について

【日程】令和6年7月17日

【時刻】14:00～15:00

【場所】博物館講座室

【対象】各曜日班のお世話係、分野別勉強会の代表

～裏面につづきます～



博物館ボランティア通信 第200号(R6年7月)

お知らせ③ 7月の教育普及関連催事


日程	内容	場所
7月11日(木) 14:00～15:00	※当日受付 博物館常設展 展示解説 定員:15名 解説:高原 恭子(歴史担当)	13:30 ふれあい体 験室前集合
7月20日(土) 14:00～16:00	文化講座(考古)※当日受付 「九州の中世城郭 各地の地域性を中心に」 定員:200名 講師:回寺 良氏(立命館大学文学部准教授)	3階講堂
7月21日(日) 14:00～15:00	※当日受付 ワナナー—民話上映会 定員:80名 講師:大城 沙織(民俗担当)	博物館 講座室
7月27日(土) 14:00～15:00	※事前申込(7/20(土)から受付) 博物館パッキー— 定員:12名 解説:後原あかね(美術工芸担当)	13:30 ふれあい体 験室前集合
7/24(水)～26(金)	※事前申込(申込のみ) 受付期間7/1～7/8 当日必着 夏休み!こどもフェスタ2024(博物館) 定員8名～20名 講師:博物館学芸員	博物館 実習室

※館内問合せ・申込: TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館) 代表

お知らせ④ ボランティア募集

ご希望の募集内容がありましたら、ボランティア室に掲示している募集用紙にお名前のご記入をお願いします。ガイド・民具体験については、当日打合せを行います。詳細については、ボランティア室の募集用紙にてご確認をお願いします。

募集内容	募集人数
7月22日(月) 13:20～ ふれあい体験室 IPM 清掃 展示室のほこり落としなどの作業	5名
8月2日(金) ① 11:20～12:00 ② 13:00～13:50 夏休み 教職員向け講座 ① 常設展示室の解説ガイドと誘導 ② 民具体験学習の解説と誘導	① 8名 ② 12名




53

8月1日発行 第201号(R6年8月)

博物館 ボランティア 通信

8月



お知らせ① ボランティア連絡会の開催について

【日程】令和6年8月15日(木)
 【時刻】15:00~16:00
 【場所】博物館講座室
 【対象】各曜り日のお世話係、分野別勉強会の代表

お知らせ② 8月の教育普及関連行事

日程	内容	場所
8月3日(土) ①10:00~12:00 ②14:00~16:00	※事前申込制 『金のかざりを作ってみよう! 彫金体験』 定員:各回15名 講師:松田 聖 氏(新藤松田8代目) 松田 浩佑 氏(新藤松田9代目)	博物館実習室
8月8日(木) 14:00~15:00	※当日受付 常設展示解説会(生物) 定員:15名 解説:菊川 章(生物担当)	ふれあい体験室前 集合
8月9日(金) 18:30~20:30	※事前申込(9/17(土)から受付) 博物館学芸員講座 『地球美術工芸の何だコレ? ~すこい何で?どやや?の?な?球?球?美?の?世?界?~』 定員:80名 講師:伊藤 拓直(美術工芸担当)	博物館 講座室
8月24日(土) 14:00~15:00	※事前申込 博物館バックヤードツアー 定員:12名 解説:菊川 章(生物担当)	ふれあい体験室前 集合
8月31日(土) 10:00~12:00	※当日受付 文化講座 『海外に残された琉球文学資料 一国立台湾大学図書館蔵『琉球大綱』をめぐり』 定員:200名 講師:石川聖吉(法政大学文化研究所 共同研究員)	3階講堂

※催事問合せ・申込:TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

博物館ボランティア通信 第201号(R6年8月)

お知らせ③ ボランティア募集


ご希望の募集内容がありましたら、ボランティア室に掲示している募集用紙にお名前のご記入をお願いします。ガイド・民具体験については、当日打合せを行います。詳細については、ボランティア室の募集用紙にてご確認ください。

日時	募集内容	募集人数
8月26日(月) 13:20~	ふれあい体験室 IPM 清掃 展示室のほこり落としなどの作業	5名程度

お知らせ④ 民具体験予定校スケジュール

今年度もボランティアサポーターによる民具体験を実施いたします。
 今年度は以下の11校が来館予定です。
 ご協力のほどよろしくお願いたします。

No.	日時	校名	人数
1	11月8日(金) 9:30~11:30	浦添市立沢岨小学校	113名(3クラス)
2	11月13日(水) 9:00~11:00	那覇市立城西小学校	108名(3クラス)
3	12月6日(金) 9:30~12:10	南城市立大里南小学校	178名(5クラス)
4	12月19日(木) 9:30~11:45	西原町立西原小学校	99名(3クラス)
5	1月8日(水) 9:00~11:45	那覇市立天久小学校	130名(4クラス)
6	1月10日(金) 9:00~11:30	那覇市立城岳小学校	105名(3クラス)
7	1月16日(木) 9:15~11:15	那覇市立小塚小学校	64名(2クラス)
8	1月17日(金) 9:30~11:00	那覇市立安斎小学校	115名(3クラス)
9	2月7日(金) 10:00~12:00	浦添市立前田小学校	109名(3クラス)
10	2月14日(金) 10:00~12:00	浦添市立神森小学校	96名(3クラス)
11	2月19日(水) 9:15~11:00	浦添市立宇栄原小学校	82名(3クラス)



今年度の民具体験も
よろしくお願いたします!

博物館ボランティア通信 第201号(R6年8月)

お知らせ⑤ (R6年度新編ボランティアさんへ) 曜日班定例会のお知らせ

当館ボランティア活動では、各曜日ごとに「曜日班定例会」を行っております。曜日班定例会では、ボランティア活動や博物館イベント情報等について、他のボランティアさん達と情報共有ができます。ボランティア活動に対する理解を深め、博物館の魅力をより深く味わえる貴重な機会となっております。ぜひご参加頂けるようお願いいたします。

曜日班名	開催日時	場所
火曜日班	第4火曜日 14:00～15:00	ボランティア室
水曜日班	第1水曜日 13:30～15:00	
木曜日班	第4木曜日 13:00～14:30	
金曜日班	第3金曜日 10:00～12:00	
土曜日班	第3土曜日 11:00～12:00	
日曜日班	第4日曜日 10:30～11:30	



9月1日発行 第202号(R6年9月)

博物館 ボランティア通信 9月号



沖縄県立博物館・美術館
博物館班(運通)
TEL: 098-851-5401
FAX: 098-941-3650



お知らせ① ボランティア連絡会の開催について

【日程】令和6年9月18日(水)
【時刻】15:00～16:00
【場所】博物館講義室
【対象】各曜日班のお世話係

お知らせ② 秋のボランティア全体会の日程について

【日程】令和6年10月17日(木)
【時刻】14:00～15:00
【場所】講堂
【対象】博物館ボランティア
※以前お配りした「R6年度年間予定表」から日程が変更になっているため、ご注意ください。

博物館ボランティア通信 第202号(R6年9月)

お知らせ② 9月の教育普及関連行事

日程	内容	場所
9月5日(木) 14:00~15:00	※当日受付 常設展示解説会(考古) 解説:山本 正昭(考古担当) 定員:15名	13:30 ふれあい体験室前 集合
9月7日(土) 14:00~16:00	※当日受付(先着順) 博物館学芸員講座 「石積みを持つグスクの特徴 〜グスクに見られる積みの加工石材を見る〜」 定員:200名 講師:山本 正昭(考古担当)	3F 講堂
9月21日(土) 14:00~16:00	※当日受付 文化遺産(人園) 「今帰仁村のグスク時代人 〜豊通寺中道原洞窟遺跡の調査より〜」 定員:200名 講師:玉城 靖(今帰仁村歴史文化センター館長)	3F 講堂
9月28日(土) 14:00~15:00	※事前申込(から受付) 博物館/バックヤードツアー 解説:山崎 真治(人類担当) 定員:12名	13:30 ふれあい体験室前 集合

※催事問合せ・申込:TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

お知らせ③ ボランティア募集

ご希望の募集内容がありましたら、ボランティア室に掲示している募集用紙にお名前のご記入をお願いします。ガイド・民具体験については、当日打合せを行います。詳細については、ボランティア室の募集用紙にてご確認をお願いします。

日時	募集内容	募集人数
9月30日(月) 13:20~	ふれあい体験室 PM 清掃 展示室のほごり落しなどの作業	5名程度
10月13日(日) 10:00~12:00	芭蕉布を羽織ってみよう 着衣体験 ワークショップ案件や写真撮影などの運営の補助	2名

お知らせ④ 曜日班メンバーリストの更新について

ボランティアの〇〇さんが、お時間の都合により、**木曜班から火曜班に移動**することになりました。それに伴い、曜日班メンバーリストを更新しましたので、ボランティア室にてご確認ください。

※リストを各曜日班BOXに入れておきますので、来館される際にご確認をお願いいたします。

博物館ボランティア通信 第202号(R6年9月)

ご報告① 夏休み教員向け講座

8月2日(金)の夏休み教員向け講座では、多くのボランティアさんのご協力いただきました。普及担当職員が2人とも不慣れな状況ではありますが、皆様の暖かいサポートにより、無事開催することができ、先生方からも好評の言葉をいただきました。お忙しい中にもかかわらずご協力いただき、誠にありがとうございます。







(写真) 夏休み教員向け講座の様子

ご報告② 新職員のご紹介!

くによし しの

【教育普及】國吉 史乃

7月末から12月末まで、平川さんの代理として臨時で入ることになりました。國吉です。初めての業務で不慣れな点が多く、皆様にはご迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思いますが、誠心誠意取り組んでいきますので、何卒ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。大学では工芸を専攻しておりました。当時はのびのびと制作に取り組んでいたため、専門的な知識はまだ浅いのですが、皆様のお手すきの際にもお話できればうれしいです。



10月1日発行 第203号(R6年10月)

博物館 ボランティア 10月号

通信



お知らせ① 秋のボランティア全体会の日程について

【日程】令和6年10月17日(木)
 【時間】14:00～15:00
 【場所】講堂
 【対象】博物館ボランティア
 ※以前お振りした「R6年度年間予定表」から日程が変更になっているため、ご注意ください。

沖縄県立博物館・美術館
 博物館班(直通)
 TEL: 098-851-5401
 FAX: 098-941-3650

お知らせ② 10月の教育普及関連行事

日程	内容	場所
10月10日(木) 14:00～15:00	常設展示解説会(地学) 定員:15名 ※当日受付 解説:宇佐美 賢(地学担当)	13:30 ふれあい体験 室前集合
10月12日(土) 14:00～16:00 (開場 13:30)	博物館学芸員講座「美しい布 芭蕉布」 定員:80名 ※当日受付(先着順) 講師:篠原 あかね(美術工芸担当)	博物館講堂
10月13日(日) 10:00～12:00	体験学習教室「芭蕉布を習織ってみよう 着衣体験」 定員:10名(対象:年齢中学生以上) ※事前申込制(webでのみ受付) 講師:篠原あかね(美術工芸担当)、大城沙織(民俗担当) ※応募者多数の場合は抽選いたします。詳細は当館webサイトにございます。	博物館実習室
10月26日(土) 14:00～16:00 (開場 13:30)	文化講座(美術工芸)「無形文化財と芭蕉布」 定員:30名 ※先着順での受付 講師:生田 ゆき氏 (文化庁文化財課第一課工芸技術部門 文化財調査官)	3F 講堂
10月26日(土) 14:00～15:00	博物館「バックヤードツアー(地質)」 ※事前申込(10/19(土)から受付) 定員:12名 解説:新山 颯大(地質担当)	13:50 ふれあい体験 室前集合

※催事問合せ・申込:TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

裏面につぎます

博物館ボランティア通信 第203号(R6年10月)

お知らせ③ ボランティア募集

下記について、ご参加いただける内容がありましたら、ボランティア室の掲示版にご記名をお願いします。

日時	募集内容	募集人数
10月28日(月) 13:20～	ふれあい体験室 IPM 清掃 展示室のほこり落としなどの作業	5名程度

お知らせ④ 民具体験 練習会

10月から始まる子ども達への民具体験サポートに先立ち、事前練習会を開催します。
 民具体験は、総合部門展示室解説ガイドの資格がなくても参加できる、全ボランティア対象の支援活動です。今回は、活動時にスムーズに対応できるよう、忘れていた知識などを改めて再確認します。この機会にぜひご参加ください。よろしくお願致します。
 ※参加を希望される方は、ボランティア室の掲示版にある集用紙に記名いただき、メールにてご連絡くださいませ。

日程	募集内容	場所
10月2日(水) 10:00～12:00	民具体験の事前練習 運搬の道具、洗濯の道具、着衣の道具について練習します。解説役と聞き役に分かれて、2人1組で実施予定です。	博物館実習室 (1階)



11月1日発行 第204号(R6年11月)

博物館 ボランティアア 通信 11月号

芸術の秋!
食欲の秋!

沖縄県立博物館・美術館
博物館班(直通)
TEL: 098-851-5401
FAX: 098-941-3650

お知らせ① ボランティア連絡会・ガイドミーティング共有会議の日程について

【日程】令和6年11月27日(水)
 【時間】ガイドミーティング共有会議・・・10:00～11:00
 ボランティア連絡会・・・11:00～12:00
 【場所】美術館 講座室
 【対象】ガイドミーティング共有会議・・・ガイド資格をお持ちの方
 ボランティア連絡会・・・曜日班及び各分野別勉強会世話係
 ※本大会でお伝えした日付から変更となっております。ご注意ください。

裏面につづきます→

博物館ボランティア連絡 第204号(R6年11月)

お知らせ② 11月の教育普及関連催事

日程	内容	場所
11月1日(金) 14:00～15:00	常設展示解説会(美術工芸/地学) 定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始) 講師:伊禮拓郎(美術工芸担当)、宇佐美 賢(地学担当)	常設展示
11月1日(金) 18:00～19:00 (開場 17:30)	芭蕉布展示解説会(第1章～第3章の展示について) 定員:15名 ※当日先着順(17:30より受付開始) 講師:大城沙織(民俗担当) 篠原 あかね(美術工芸担当)	特別展示場
11月7日(木) 14:00～15:00 (全場 13:00)	常設展示解説会(人類) 定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始) 講師:澤浦亮平(人類担当)	13:30 ふれあい体験 室前 集合
11月9日(土) 14:00～16:00	学委員講座(民俗)「芭蕉とシマの生活誌」 定員:80名 ※当日先着順(開場 13:30) 講師:大城沙織(民俗担当)	IF 講座室
11月9日(土) 14:00～16:00 (開場 13:30)	文化講座(民俗)「喜如斎の芭蕉布」 定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30) 講師:平良 美盛子氏(喜如斎の芭蕉布保存会 会長)	3F 講堂
11月23日(土) 14:00～15:00	博物館バックヤードツアー(地学) ※事前申込 (10/19(土)から受付) 定員:12名 解説:宇佐美 賢(地学担当)	13:50 ふれあい体験 室前 集合

※催事問合せ・申込:TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

2 枚目につづきます→

ご報告② 民具体験練習会

10月2日(水)、8日(火)、8日(火)、18日(金)に民具体験練習会を開催しました。ベテランの方々だけでなく、新棟の方にもご参加いただき、活発な交流の場となりました。教育普及担当職員が不慣れな中でも、皆様の熱意や知識に支えられ、大変勉強になりました。当日でいただいたご意見は、今後の民具体験に活かしていきたいと思えます。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。11月から始まる小学生向け民具体験でも、引き続きサポートをよろしくお願いたします。



▲皆様に温かく見守られる中、緊張しつつタワーレーの実演をする図古



お知らせ③ ボランティア募集

下記について、ご参加いただける内容がありましたら、ボランティア室の掲示版にご記名をお願いします。募集の詳細につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

※「小規模校ガイド」はガイド資格をお持ちの方向けの募集となります。ガイド資格のある方のボランティア証には、船のシールエットが描かれています。

日時	募集内容	募集人数
11月8日(金) 9:15~11:30 (集合 9:00)	民具体験 沢庵小学校 3年生 113名(3クラス)	15名
11月22日(金) 9:00~11:30 (集合 8:45)	民具体験 城西小学校 3年生 108名(3クラス)	15名
11月25日(月) 13:20~14:20	ふれあい体験室 IPM 清掃 展示室のほこり落としなどの作業	5名程度
11月27日(水) 14:30~16:00 (集合 14:15)	小規模校ガイド 林田小学校 6年生 19名 引率 4名	4名 (ガイド資格をお持ちの方)
11月28日(木) 11:00~12:40 (集合 10:45)	小規模校ガイド 奥小学校 3~6年生 6名 引率 5名	4名 (ガイド資格をお持ちの方)
11月28日(木) 13:00~14:00 (集合 12:45)	小規模校ガイド 奥田小学校 6年生 14名 引率 4名	4名 (ガイド資格をお持ちの方)
12月19日(木) 9:30~11:40	民具体験 西原小学校 3年生 99名(3クラス)	15名

ご報告① 秋のボランティア全体会

秋のボランティア全体会にご参加いただき、誠にありがとうございました。今年度の分野別勉強会については「ボランティア活動のてびき」(R6春の全大会で配布)に基づいて運用いたします。今後、博物館教育普及班としては、より良いボランティア活動の場を提供できるよう、状況を整理し改善してまいりますので、ご意見がございましたら、ぜひアンケートでお聞かせください。



裏面につづきますー

12月1日発行 第205号(R6年12月)

博物館 ボランティア 通信

沖縄県立博物館・美術館
 博物館班 (直通)
 TEL: 098-951-5401
 FAX: 098-941-3650

お知らせ① ボランティア連絡会の日程について

【日程】令和6年12月25日(水)
 【時間】15:00～16:00
 【場所】美術館 講堂
 【対象】各曜日班世話係、分野別勉強会世話係

裏面につづきますー

博物館ボランティア通信 第205号(R6年12月)

お知らせ② 12月の教育普及関連行事

日程	内容	場所
12月5日(木) 14:00～15:00	常設展示解説会(美術工芸) 定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始) 講師:伊藤拓郎(美術工芸担当)	13:30 ふれあい体験室前 集合
12月7日(土) 14:00～16:00	学芸員講座(人類)「久米高町下地原洞穴遺跡に旧石器時代の人類活動痕跡を探る」 定員:80名 ※当日先着順(開場 13:30) 講師:澤浦亮平(人類担当)	第一会場:1F 講堂等 第二会場:博物館実習室
12月14日(土) (開場 13:30)	文化講座(美術工芸)「琉球の茶文化について」 定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30) 講師:森達也氏(沖縄県立芸術大学 副学長)	3F 講堂
12月21日(土) 14:00～15:00	博物館バックヤードツアー(人類) ※事前申込 (12/14(土)から受付) 解説:澤浦亮平(人類担当) 定員:12名	13:50 ふれあい体験室前 集合

※催事問合せ:TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

お知らせ③ ボランティア募集

下記について、ご参加いただける内容がありましたら、ボランティア室の掲示板にご記名をお願いします。募集の詳細につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

実施日時	募集内容	募集人数
12月19日(木) 9:30～11:40 (集合時間 9:15)	民具体験 西原小学校 3年生 99名(3クラス)	15名程度
12月23日(月) 13:20～14:20	ふれあい体験室 IPM 清掃	10名程度
1月8日(水) 9:00～11:40 (集合時間 8:45)	民具体験 天久小学校 3年生 130名(4クラス)	15名程度
1月10日(金) 9:00～11:30 (集合時間 8:45)	民具体験 城岳小学校 3年生 105名(3クラス)	14名程度
1月16日(木) 9:15～11:15 (集合時間 8:45)	民具体験 小樽小学校 3年生 64名(2クラス)	13名程度
1月17日(金) 9:30～11:30 (集合時間 9:15)	民具体験 安謝小学校 3年生 115名(3クラス)	14名程度

2 枚目につづきますー

ご報告 民具体験

民具体験へのご協力、誠にありがとうございました！

11月8日に行われた今年度初の民具体験は、降りしきる雨の中で始まりました。途中で予想以上の大雨となり、例年の雨天時ルートから変更を余儀なくされ、各民具の体験時間が短くなるなど、混乱する場面もありました。しかし、ボランティアの皆様のおかげで無事に終了することができました。心より感謝申し上げます。



▲11月8日 沢峠小の民具体験
着衣体験をしながら、悉くしに見えるアダンの葉について解説を聞く子供たち。

11月22日の民具体験は、前回の反省を生かし、時間通りにスムーズに進行しました。これもボランティアの皆様のご協力のおかげです。そして、この日は新たに2名のボランティアの方が参加してくださいました！皆様、本当にありがとうございました。



▲11月22日 城西小の民具体験
子供たちの前で洗濯道具（タレーレー）の発演中。新規ボランティアの方も参加してくださいました！

12月にも5校の民具体験の予定がございます。お忙しいところ恐縮ですが、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。
(城間)



博物館 ボランティア通信 1月号！



明けましておめでとうございます！
令和7年も宜しく申し上げます！

沖縄県立博物館・美術館
博物館班 (直通)
TEL: 098-851-5401
FAX: 098-941-3650

お知らせ① ボランティア連絡会の日程について

【日程】 令和7年1月29日(水)
【時間】 15:00~16:00
【場所】 博物館実習室
【対象】 各曜日班世話係、分野別勉強会世話係



お知らせ② 1月の教育及関連催事

日程	内容	場所
1月9日(木) 14:00~15:00	常設展示解説会(歴史) 定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始) 講師:大城重也(歴史担当)	ふれあい体験室前 集合
1月18日(土) 14:00~16:00	文化講座(地質) 「目と石化に魅せられた一人のうちなーんちゆのはなし」 定員:20名 ※当日先着順(開場13:30) 講師:安里 蘭士(福井県立恐竜博物館 研究員)	3F 講堂
1月25日(土) 10:00~12:00 (集合 9:30~)	学芸員講座(地質)「ジオツアー in 多良間村」 定員:20名 ※事前申し込み・抽選 申し込み期間:2024年12/24(火)~2025年1月6日(月) 申し込み方法:web 受付・電話 (12/29(日)~1/3(金)はweb 受付のみ) 参加費:50円(保険代) 講師:新山 颯大(地質担当)	多良間村 ※詳細は当選通知 お知らせします。 現地集合・現地解散 で1,2,3,4,5,6,7,8 ください。
1月25日(土) 14:00~15:00	博物館/バックヤードツアー(歴史) ※事前申込(1/18(土)から受付) 定員:12名 解説:大城重也(歴史担当)	ふれあい体験室前 集合

※催事問合せ・申込:TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表) 裏面につづきます→

お知らせ③ ボランティア募集

博物館ボランティア通信 第206号(R7年1月)

下記について、ご参加いただける内容がありましたら、ボランティア室の掲示板上にご記名をお願いします。募集の詳細につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

※12月のボランティア通信から集合同期が変更になっているものがございます。ご注意ください。


実施日時	募集内容	募集人数
1月8日(水) 9:00~11:40(集合時間 8:30)	民具体験 天久小学校 3年生 128名(4クラス)	15名程度
1月10日(金) 9:00~11:30(集合時間 8:30)	民具体験 城岳小学校 3年生 96名(3クラス)	14名程度
1月16日(木) 9:15~11:15(集合時間 8:45)	民具体験 小瀬小学校 3年生 60名(2クラス)	13名程度
1月17日(金) 9:25~11:30(集合時間 8:55)	民具体験 安瀬小学校 3年生 104名(3クラス)	14名程度
2月14日(金) 9:30~12:00(集合時間 9:00)	民具体験 神森小学校 3年生 90名(3クラス)	14名程度
2月19日(水) 9:15~11:00(集合時間 8:45)	民具体験 宇栄原小学校 3年生 77名(3クラス)	14名程度

【ご報告】民具体験

12月19日の民具体験にご協力いただき、誠にありがとうございました！
今回は、各民具の体験時間が5分という非常にタイトなスケジュールにも関わらず、皆様のご尽力により、時間通りに体験を終えることができました。特に、担ぎ棒体験については、何度も再募集をさせていただいたにも関わらず、快く参加してくださる方がいらつしたり、無事に体験を実施することができました。本当にありがとうございました！
6校となりましたが、民具体験も残すところ引き続きご協力をよろしくお願ひ申し上げます。(城間)

【お知らせ】化石展開催中！

12/20(金)~2/24(月)まで開催中の「琉球列島 地質・化石展」は、博物館ボランティア証を提示すれば無料で観覧可能です。
この機会にぜひご覧ください！




▲担ぎ棒体験の様子

2月1日発行 第207号(R7年2月)

博物館 ボランティア通信

2月号!



2月もよろしくおねがいします！

お知らせ① ボランティア連絡会の日程について

【日程】 令和7年 2月18日(火)
 【時間】 15:00~16:00
 【場所】 博物館講座室
 【対象】 各曜日班世話係、分野別勉強会世話係

お知らせ② 2月の教育普及関連行事

日程	内容	場所
2月6日(木) 14:00~15:00	常設展示解説会(地質) 定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始) 講師:新山風太(地質担当)	13:30 ふれあい体験室前 集合
2月8日(土) 14:00~16:00	学芸員講座(歴史) 『近代における首重王府文書の移動』 定員:80名 ※当日先着順(開場 13:30) 講師:大城直也(歴史担当)	博物館講座室
2月15日(土) 10:00~11:30	体験学習教室(地質) 定員:12名 ※事前申込(小学校3年以上) 講師:新山風太(地質担当)	博物館実習室
2月15日(土) 14:00~16:00	文化講座(歴史) 『資料が語る『大湊復興』の生涯』 定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30) 講師:善倉場 大真(大湊歴史学専攻)	3F 講堂
2月22日(土) 14:00~15:00	博物館/バックヤードツアー(民俗) ※事前申込 (2/15(土)から受付) 定員:12名 解説:大城直也(民俗担当)	13:50 ふれあい体験室前 集合

※催事問合せ・申込: TEL 098-941-8200 (県立博物館・美術館 代表)

博物館ボランティア通信 第207号(R7年2月)

お知らせ③ ボランティア募集

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ボランティア室の掲示板へご記名をお願いします。募集の詳細につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

※12月のボランティア通信から集合時間が変更になっているものがございますので、ご注意ください。

実施日時	募集内容	募集人数
2月14日(金) 9:30~12:00(集合時間 9:00)	民具体験 神養小学校 3年生 90名(3クラス)	16名程度
2月17日(月) 13:20~14:20	IPM 清掃 ふれあい体験室	10名程度
2月19日(水) 9:15~11:00(集合時間 8:45)	民具体験 宇栄原小学校 3年生 77名(3クラス)	16名程度

【ご報告】 民具体験

寒い中、ご協力いただきありがとうございました！

1月は2週間の間に4校の民具体験を実施するというタイトなスケジュールの中、皆様のご協力により、予定通りスムーズに進行することができました。

寒さが厳しい中、皆様の温かいご支援とご協力に、深く感謝申し上げます。

今年度の民具体験も残すところあと2校となりまして、引き続き皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。(城間)



▲民具体験(ハーク・ティール)の様子
1月8日(水) 天久小



▲民具体験(拒ぎ株)の様子
1月17日(金) 安楽小



▲民具体験の様子 1月10日(金) 城岳小 ▲民具体験の様子 1月16日(水) 天久小



▲民具体験の様子 1月10日(金) 城岳小 ▲民具体験の様子 1月16日(水) 天久小


3月1日発行 第208号(R7年3月)

博物館

ボランティア通信

3月号!

沖縄県立博物館・美術館
博物館班 (直通)
TEL: 098-851-5401
FAX: 098-941-3650



お知らせ① ボランティア連絡会の日程について

【日程】 令和7年 3月18日(火)
 【時間】 15:00~16:00
 【場所】 博物館講座室
 【対象】 各曜日班世話係、分野別勉強会世話係

お知らせ② 10分ガイド勉強会

【日程】 令和7年 3月13日(木)、3月18日(火)
 【時間】 10:00~12:00
 【場所】 3月13日(木)…美術館講座室 3月18日(火)…博物館講座室
 【対象】 ガイドボランティア (進貢船のマーク) のうち希望者のみ

お知らせ③ 3月の教育普及関連行事

日程	内容	場所
3月6日(木) 14:00~15:00	常設展示解説会(教育普及) 定員:15名 ※当日先着順(13:30より受付開始) 講師:平川 信幸(教育普及担当)	13:30 ふれあい体験室前 集合
3月8日(土) 14:00~16:00	文化講座 「地下壕でつながる沖縄戦」 定員:200名 ※当日先着順(開場 13:30) 安藤 広道 氏(慶應義塾大学 文学部 教授)	3F 講堂
3月13日(木) 3月18日(火) 13:30~14:30	博物館ボランティア限定 美術館コレクションキョーラリー解説会 講師:前田 比呂也(美術館班長) 定員:10名程度 ※ボランティア室掲示の募集用紙をご確認ください。	美術館 入口
3月22日(土) 14:00~15:00	博物館バックヤードツアー(教育普及) 定員:12名 ※事前申込 (3/15(土)から受付) 講師:平川 信幸(教育普及担当)	13:50 ふれあい体験室前 集合

※催事問合せ・申込: TEL 098-941-9200 (県立博物館・美術館 代表) 裏面につづきます→

一般財団法人 沖縄美ら島財団発行 ボランティア通信
4月号①

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okina Island Foundations
2024年4月1日 第197号



ボランティア通信

退職のご挨拶

ボランティアの皆さまへ

2017年4月より財団で勤務してまいりましたが、このたび今年の3月でおさみゅーを離れることとなりました。ボランティアの皆さまには大変大変お世話になりました！

この7年間、ふれあい体験室担当として、多くのボランティアの方々と関わることができました。ふれあい体験室においても、学校団体が入ったときにはヘルプに来てくださったり、スタッフの皆を気にかけて休憩フォロワーに入ってくださいだったり、いつもボランティアの皆さんに助けていただきました。夏休みの繁忙期になると、ふれあい体験はいつもごった返しで恐ろしいことになっていきますが、そんな時も一緒に体験サポートをしてくださったりと、皆さんのふれあいを気にかけてくださるお気持ちに本当に嬉しかったです。

入社したばかりの頃は、ふれあい体験室ワークシヨップの運営にもなかなか慣れなくて、いつもヒイヒイ言いながらこなしてたのですが、土曜班やその他のボランティアの皆さんが毎週かさずサポートに来てくださることが本当に嬉しく、また心の支えでもありました。

皆さんがいてくださったからこれまで乗り越えてこれたと感じています。本当はもっと団体ガイドに民具体験に、こどもフェスタに体験教室に、とたくさんのお思い出があるのですが、A4一枚ではとても語りつくせません(笑)

この7年間おさみゅーで働けたこと、皆さんと出会えたことは私の一生の宝物です。本当にお世話になりました。これからは沖縄県立博物館・美術館のスタッフとして、また遊びに行きたいと思っています。本当にありがとうございました！

2024年3月 沖縄美ら島財団 新垣(ひが)麻乃



二人そろって卒業！
感謝の気持ちで
いっぱいです！

博物館ボランティア選考 第208号(R17年3月)

お知らせ④ ボランティア募集

下記について、ご参加いただける内容がございましたら、ボランティア室の掲示版へご記入をお願いします。募集の詳細につきましては、ボランティア室に掲示してある募集用紙をご確認ください。

実施日時	募集内容	募集人数
3月24日(月) 13:20~14:20	IPM 清掃 ふれあい体験室	10名程度

【ご報告】 民具体験

今年度の民具体験も、本当にありがとうございました！

今年度の民具体験にご参加いただき、本当にありがとうございました。3月は、今年度最後の民具体験が2件行われました。まだ肌寒さを感じる季節でしたが、皆さまのご協力のおかげで無事に終了することができました。心より感謝申し上げます。

子どもたちにとって、今回の体験は、大変貴重な学びの機会となったことと思います。多くの素晴らしい思い出を作ることができたのも、ボランティアの皆さまのご尽力があったことです。本当にありがとうございました。

来年度も引き続き協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。(城間)



▲ 運瀬体験の様子
(2月14日 神森小学校)



▲ 着衣体験の様子
(2月19日 宇栄原小学校)



▲ 洗濯体験の様子
(2月14日 神森小学校)





博物館 ボランティア通信

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okina Museum of Okinawa Foundation Inc.
2024年7月1日 第200号


梅雨が明け、久しぶりに陽の光がさんさんと降りる沖縄ですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？
これから始まる暑くて長い夏を、今年も様々なイベントで盛り上げていきたいと思いたいで、みなさまのご協力をどうぞよろしくお願ひいたします！

新規ボランティアの皆さん、
ぜひ見学にお越しください！

夏休み！こどもフェスタ2024
7月24日(水)～26日(金) 博物館実習室
おもしろくてためになる講座やワークショップを開催します！自由研究にもピッタリ！！
夏休はおきゅーへGO！！

毎週土曜日は!! ふれあい体験室ワークショップ
貝がらでコマあそび
「ティラジャー」と呼ばれているマガキガイの貝がらを使ってコマを作ります！
2024年7月～9月の毎週土曜日 ①10:00～11:00 / ②11:00～12:00






博物館 ボランティア通信

一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okina Museum of Okinawa Foundation Inc.
2024年9月1日 第202号

ボランティアのみなさま
夏休みもたくさん、ご支援いただき本当にありがとうございます。
おかげさまで多くの来場者がおきゅーを満喫できたと思います。
そして、今更なのですが、7月から復職しています、
大濱萌子（おはまももえこ）です。
育児休暇から気合を入れて復職したものの、正直、一週間出勤するのも「至難の業だ…」と、感じつつ7・8月を過ごしてきました。
きちんとご挨拶できず失礼しております。
本当にみなさんご無沙汰しております！

昨年度から活動なさっているボランティアさんは、「だれ〜?」とお思ひかもしれません。ご挨拶が遅くなり申し訳ございません。
石田や藤田と一緒に博物館の教育普及を担当いたします。
これからまた、ボランティアのみなさんと一緒に楽しく活動したいと思ひますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



大濱 萌子
博物館教育普及担当
(一財) 沖縄美ら島財団

毎週土曜日は!! ふれあい体験室ワークショップ
貝がらでコマあそび
「ティラジャー」と呼ばれているマガキガイの貝がらを使ってコマを作ります！
2024年7月～9月の毎週土曜日 ①10:00～11:00 / ②11:00～12:00



一般財団法人
沖縄美ら島財団
Museum of Handwoven Textiles

2024年10月1日 第203号

博物館 ボランティア通信

夏のサポートのご協力、 ありがとうございます。



今年のお夏もたくさんのお客様にふれあい体験室やワークショップにご来場いただき、
盛りの中、無事に忙しい夏を終えることができました。皆さまのご協力とサポートのおかげです！
本当にありがとうございます。



ふれあい体験室からのお知らせ

10・11・12月「手織りブレスレットづくり」

たて糸とよこ糸の組み合わせでできる布の仕組みや沖縄の織物について学びながら、オリジナルブレスレットをつくります。

【日程】 10月～12月の毎週土曜日
【時間】 ①10:00～11:00 ②11:00～12:00
【場所】 エントランスホール
【定員】 各回9名
【参加費】 500円
【申込】 9/21(土)～

英語ワークショップ開催!!「Making Handwoven Bracelets」

この夏開催したおきみゅー初の英語のワークショップは、大好評につき秋も実施いたします！

【日程】 11/2, 11/7, 12/7(土)
【時間】 14:00～15:00
【場所】 エントランスホール
【定員】 各9名
【参加費】 500円
【申込】 10/12(土)～



ボランティアサポート募集しています！



一般財団法人
沖縄美ら島財団
Museum of Handwoven Textiles

2024年11月1日 第204号

博物館 ボランティア通信



今年もやります！
おきみゅー誕生祭のお知らせ

当館がオープンして今年で17年目を迎えます。
今年も、食イベントやお笑いライブなど様々なイベントを企画しておりますので、ぜひ遊びにいらしてください(*・ω・*)
皆様のご来場おまちしております。



おきみゅー誕生祭
2024
11.3 SUN

- クイズラリー
おきみゅーちゃんどぼんちんちゃんからのクイズにトライ!
- 万国津梁の鐘 オナーナメントづくり
「万国津梁の鐘」モチーフのペーパークラフトに挑戦!
- 「琉球列島 地質・化石展」プレイイベント
砂粒と小さな生き物たちの化石をのぞいてみよう!
- おきみゅーおいしいもの市
人気のキッチンカーやスイーツ＆ドリンクのお店がおきみゅーにやってくる!
- 映画「ファーンズ」舞台挨拶付き上映会
2023年話題となった映画「ファーンズ」を特別上映。
- ライブイベント
・音楽ライブ 15:00～16:00
・お笑いライブ 16:00～17:00

- 沖縄最古の鐘を鳴らそう
沖縄にある一番古い鐘を鳴らせるよ！
本物の鐘の音を感じよう!
- アートと笑いのギャラリートーク
『Oでも×でもないもの』
～「ARTと私」正解のない「教育普及」展～
アートとお笑いを楽しみながら作品鑑賞しよう



★申し込みの必要なイベントもございますので
詳しくは、HPやチラシをごらんくださいませ。





博物館 ボランティア通信

一般財団法人
沖縄美ら島財団
MIRAIWA & ISHIGAKI ISLANDS FOUNDATION

2025年1月1日 第206号

新年あけましておめでとうございます。

昨年も様々な活動で一緒にさせていただき、ありがとうございました！
本年も年明けから民具体験や様々な会議、2月以降には10分ガイドの勉強会など多岐にわたる活動が始まりますが、ボランティアの皆さんと一緒に笑顔で楽しい時間を過ごせたらと思っています。
本年もよろしくお願いたします。

沖縄美ら島財団 教育普及

10分ガイドの勉強会がはじまります！

対象：ガイドボランティアのみなさん（進貢給マーク）

11月のガイドボランティアの勉強会に
お集まりいただきありがとうございます。
具体的なガイドの勉強会を2～3月にかけて
4回実施します。1回でも2回でも何度でも
ご参加いただけますと嬉しいです。
10分ガイドが、ボランティアさんの活動に
なるよう一緒にプログラムをつくっていただき
たいと思います。よろしくお願いたします。

ふれあい体験室からのお知らせ

日頃からふれあい体験室とワークショップのサポートのご協力ありがとうございます！
1月から新しいワークショップが始まります。引き続き、皆さまのご協力お願いいたします。

1・2・3月「沖縄のおまもり サンストラップづくり」

沖縄に昔から伝わるいろいろなお守りや魔除けについて学びながら、「サン」（サンクワー）とキラキラ光る天然石のお守りストラップを作ります。

【日程】2025年1月～3月の毎週土曜日
【時間】①10:00～11:00 ②11:00～12:00
【場所】エントランスホール
【定員】各回9名
【参加費】500円
【申込】12/21（土）～

ボランティアサポート募集しています！





博物館 ボランティア通信

一般財団法人
沖縄美ら島財団
MIRAIWA & ISHIGAKI ISLANDS FOUNDATION

R7年4月1日 第209号

今年度も、沖縄美ら島財団をよろしくお願いたします（*^*）

早速ですが、GWのイベントについてお願います。
今年のGWは、
【普段のボランティアさんの活動を伝えよう！】と【おきみゆーの楽しみ方を伝えよう！】
【みんなでお交流を楽しもう！】という目的で実施します。
ボランティアのみなさんが、普段、博物館常設展示室やふれあい体験室等で、感じている
【知るって楽しいわあ！】という思いを、来館者にもぜひ伝えたいと考えています。
そして、活動を通してボランティアの皆さんには、来館者、博物館のボランティアさん同士、
美術館のボランティアさん、沖縄県立博物館友の会のみなさん、財団職員との交流も楽しんで
いただきたいと思います。
今回は、5/3（土）～5/5（日）3日間に、下記内容を実施予定です。
ボランティアのみなさんと一緒にイベントを作りたいこともあり、勉強会を実施します。
みなさまのご参加を心よりお待ちしております（*^*）
森 萌子

GWワークショップ勉強会

4/2（水）・4/8（火）
4/16（水）・4/22（火）・4/30（水）
10時～12時 美術館講座室
・全ての会にでもOK！
・勉強会も当日も途中参加・退室OK！

具体的なイベント（予定）

- ・ 展材工作教室
- ・ ふれあい体験室サポート（ワークショップ含む）
- ・ かみしばい
- ・ ガイド（常設展、民家など無料ゾーン）
- ・ 鑑賞体験（美術館アートカード）
- ・ おりがみ

ふれあい体験室からのお知らせ

日頃からふれあい体験室とワークショップのサポートのご協力ありがとうございます！
4月から新しいワークショップが始まります。引き続き、皆さまのご協力お願いいたします。

4～7月「沖縄の染め織りもようデザイン」

今年度のワークショップは、年間3プログラムとなります。これまで人気があったワークショップに新編の内容を追加し、更にプラッシュアップして実施いたします。
新編のお香だけだけでなくピビーターのお香にも楽しんでいただける内容を考えながら、今年度はワークショップに取り組みたいと思っています。
4～7月は沖縄の染物「紵型」や織物「紵」をテーマに模様やデザインについて考えながらスタンプでオリジナルバッグを制作します。今月初となる紵デザイン！
皆さまのワークショップのご参加もお待ちしております☆

【日程】2025年4月～7月の土曜日
【時間】①10:00～11:00 ②11:00～12:00
【定員】各回9名（参加費）600円（甲 込）3/22（土）～

詳しくは、こちらから




XI その他

1 移動展

- ① 名称：第15回 沖縄県立博物館・美術館 移動展 in 多良間村
- ② 開期：令和7年1月24日（金）～26日（日）
- ③ 開催時間：午前9時～午後5時
- ④ 開催地：多良間村コミュニティ施設 ふれあいフクギ館
- ⑤ 対象：一般
- ⑥ 観覧料：無料
- ⑦ 主催：沖縄県立博物館・美術館、一般財団法人沖縄美ら島財団
- ⑧ 共催：多良間村教育委員会

趣旨

沖縄県立博物館・美術館では、県民が本県の自然・歴史・文化や芸術を正しく認識できるよう、これまで収集された資料を常設展示やコレクション展示で公開してきた。しかしながら島嶼県である本県では、当館の利用に不便を感じている離島や遠隔地に住む方々が多く、県民が等しく当館を利用することが難しい現状にある。移動展は、離島や遠隔地の方々に収集資料の展示をみていただくことによって、沖縄の自然・歴史・文化や、芸術への理解を深めていただくことを目的とし実施した。



展示内容

- (1) 博物館展示
 - 「沖縄の自然、歴史、文化」・地学・歴史・民俗・考古・教育普及に関する総合展示
 - デジタルミュージアム動画コンテンツ上映・・・ウチナーの民話上映
- (2) 美術館展示
 - 「展覧会展示パネル」・・・これまでの展覧会概要パネルの展示
 - 《Now・・・(1)》(川平 恵造)、《八重山風景》(大嶺 政寛)の精細な複製を展示。

総入館者数 403人

内訳

○24日(金)/ 157人

○25日(土)/ 121人

○26日(日)/ 125人

【移動展の様子】





① 「ほしぞら観察会 in 多良間村」

日 程：1月24日（金）17:30～20:00（17:00 受付）

講 師：宇佐美 賢（地学担当）・桃原 薫（多良間村教育員会）
藤田 早苗（教育普及担当）

参 加：61名（当日先着）

参加費：無料

会 場：多良間村コミュニティ施設 ふれあいフクギ館



② 「博物館学芸員講座ジオツアー in 多良間村」

日 程：1月25日（土）10:00～12:00（9:30 受付）

講 師：新山 颯大（地質担当）

対 象：小学校3年生以上

参 加：21名（事前申込）

参加費：50円（保険代）

会 場：多良間村内



③ 「出前事業」

日 程：1月23日（木）

場 所：多良間村立多良間小学校

対 象：1・2・3年生 民俗分野（学芸員 大城 沙織）

4・5学年 生物分野（主任学芸員 菊川 章）

6学年 歴史分野（館長 里井 洋一）

④ 「万国津梁の鐘 ゆらゆらオーナメントづくり」

日 程：1月24日（金）～1月26日（日）

参 加：166名（合計人数）

参加費：無料

会 場：多良間村コミュニティ施設 ふれあいフクギ館

2 職場体験

令和6年度は中学校2校7名、高等学校2校7名を受け入れた。中学校、高等学校の生徒たちは、もぎりやミュージアムショップでの接客業務や情報センターでの資料整理他などを体験した。

体験内容：もぎり(入場券の確認)、ふれあい体験室(ワークショップの準備)、ミュージアムショップ(接客、商品の管理)、情報センター(新聞の切り抜き作業・その他資料整理)、博物館・美術館班(バックヤードおよび学芸業務の見学)

受入校：4校14人(中学校2校、高等学校2校)

- ① 沖縄県立沖縄水産高等学校3年：6月25日(火)4名
- ② 沖縄県立沖縄工業高等学校2年：9月11日(水)3名
- ③ 那覇市立那覇中学校1年：12月13日(金)4名
- ④ 那覇市立鏡原中学校1年：12月18日(水)3名

沖縄県立沖縄水産高等学校



沖縄県立沖縄工業高等学校



3 教育普及資料の活用

(1) 学校団体貸出一覧

	利用者	資料名	利用目的	貸出期間
1	沖縄県立大平特別支援学校	んかしむん、ちむドンドン (着物、帯、四ツ竹)	国際交流	7月3日から 7月10日
2	沖縄県立図書館	ガンシナ、バーキ、 ティール	体験コーナー展示	7月16日から 9月3日
3	沖縄県立那覇特別支援学校	んかしむん	展示	1月17日から 2月6日
4	那覇市立与儀小学校	んかしむん、洗濯板、 着衣セット	授業利用 (社会科)	1月9日から 1月16日
5	那覇市立小禄南小学校	んかしむん	授業利用 (社会科)	1月17日から 1月24日
6	那覇市立壺屋小学校	んかしむん クバみの・クバ笠	授業利用 (社会科)	1月31日から 1月10日
7	那覇市立真嘉比小学校	んかしむん	授業利用 (社会科)	2月14日から 2月20日
8	沖縄県立那覇みらい支援学校	んかしむん、ちむドンドン	授業利用 (道徳)	2月17日から 2月28日

図1-① 資料利用申請書 第5様式

第5様式 (第4条関係)

資料利用申請書
(教育普及資料の借用)

令和元年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名 _____ 印
申請者 団体名 _____)
(風当者氏名)

住 所 〒 _____
TEL _____
FAX _____
E-mail _____

下記より教育普及資料の利用を許可くださるようお願いいたします。

利用区分	1学校(学級・学級)行事	2地域・団体行事	3その他
希望日時・期間	年 月 日 時 ~ 年 月 日 時		
行 事 者		参加人員	
目 的			
借 用 名	数 量	備 考	
品名			
品名			
品名			
品名			

※留意事項

- 当館学芸員の指示に従い、部品の取替時間内に行うこと。
- 資料の利用に当たっては、必要に応じて 沖縄県立博物館・美術館所蔵 と明記すること。
- 資料の紛失あるいは損傷をきたした場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
- 資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を行うこと。
- 申請の期間は、返却日(即ち期日)を定めること。
- 貸与期間は1週間以内とする。
- 資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
- 資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。
- 万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。

返却に遅延した行為があったときは、この許可を撤回することがある。

図1-②

民具借用にあたってご注意いただくこと

- 児童による借用・使用体験は行わないでください**
通常であれば、児童の使用・体験を目的として貸し出しを行いますが、本年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、大勢の児童が次々に同一のアイテムに触れることを避ける措置をとっています。
使用・実演は教員が行うよう、お願いいたします。
- 丁寧な扱いを心がけてください**
民具は自然由来の素材で作成されているものが多く、脆弱しやすいです。
特に着衣の道具は、ニットなどの素材が引っかかることがあるためご注意ください。
- 博物館の感染症対策・防カビ対策にご協力ください**
博物館の清潔度は、虫・カビなどの害に詳しいため、それらの影響を受けないように館内の環境(温度・湿度)を一定に保ち、また、外部から虫などの持ち込み・虫などを誘引するもの(食べ残・雑草など)の排除を行っています。害虫が発生してから駆除する考え方もありますが、被害が拡大してしまうこと、駆除が収縮品に影響を与える可能性があるため、近年では予防対策の徹底を行う方法が主流になっています。
具体的には、以下のような対策を行います。
①飲食を博物館の中で行わない・飲食後を持ち込まない。
②動物・植物・土を持ち込まない。
③カビなどが発生しやすい状況を作らない(ほこりを溜めない、湿度調整する、乾かさせる)
④汚染されたものとは隔離する

学校は給食や弁当、そして児童の水筒、プラントナーなど、博物館では取り扱いが難しいものとの接触が想定されます。民具の保管場所には十分ご注意ください。
特に、水を使うタレー(洗濯の道具・たらい)は乾燥させたうえでの返却をお願いします。

- アルコール消毒をした場合の注意**
民具をアルコールで拭いて消毒することは可能です。ただし、消毒後の水分が多いため、消毒後にそのほかのケースやビニール袋に入れるとカビの原因となります。
消毒後は民具の乾燥をご希望のうえ、返却をお願いします。
- 何かトラブルが発生した場合は、博物館へご連絡ください**



けんぱくキット

「けんぱくキット」は、博物館が学校をはじめとした各施設に貸し出しを行っている学習教材です。

沖縄県立博物館・美術館 博物館

けんぱくキット

Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

けんぱくキット
んかしむん



けんぱくキット利用までの流れ

1. 申し込み
2. 貸出
3. 返却

【開館時間】 9:00~18:00(金・土は20:00まで) ※入場は前日の20:00まで

【休館日】 休館日(休館日が祝日にある場合は例外的に、翌日が休館) ※年末年始

【MAP】 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

あなたの仲間へ出会う

沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1
TEL: 098-861-1111 FAX: 098-861-1666

けんぱくキットリーフレット・おもて

沖縄県立博物館・美術館
けんぱくキット

貸し出し教材で授業充実！

「けんぱくキット」とは、沖縄県立博物館・美術館が無料で貸出している学習教材です。

 <p>50ドットマン</p> <p>面取り、バーンアウト、切り出し、折り、接着の工程がわかる。50ドットマンの作りかた。</p>	<p>50ドットマン</p> <p>面取り、バーンアウト、切り出し、折り、接着の工程がわかる。50ドットマンの作りかた。</p>	 <p>パーランカー</p> <p>琉球の伝統的なおもちゃ。おもちゃの歴史や文化について学ぶ。</p>	<p>太極拳の五行扇</p> <p>扇の歴史や五行の考え方について学ぶ。</p>	 <p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>	<p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>
 <p>琉球舞踊の衣装</p> <p>琉球舞踊の衣装の歴史や特徴について学ぶ。</p>	<p>琉球舞踊の衣装</p> <p>琉球舞踊の衣装の歴史や特徴について学ぶ。</p>	 <p>豆</p> <p>豆の歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>豆</p> <p>豆の歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>	<p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>
 <p>三日月</p> <p>三日月の歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>三日月</p> <p>三日月の歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>	<p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>
 <p>サンバ 団扇</p> <p>サンバの歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>サンバ 団扇</p> <p>サンバの歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>	<p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>
 <p>口笛</p> <p>口笛の歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>口笛</p> <p>口笛の歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>	<p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>
 <p>木箱</p> <p>木箱の歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>木箱</p> <p>木箱の歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>	<p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>
 <p>楽器</p> <p>楽器の歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>楽器</p> <p>楽器の歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>	<p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>
 <p>玩具</p> <p>玩具の歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>玩具</p> <p>玩具の歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	<p>Ami Day</p> <p>Ami Dayの歴史や種類について学ぶ。</p>	 <p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>	<p>骨スーツ</p> <p>骨の構造や機能について学ぶ。</p>

けんぱくキットリーフレット・中身

4 ボランティアによる展示ガイド

博物館ボランティアの活動の一つに、展示解説ガイドがある。来館者サービス向上の一環として、博物館常設展示室の「民俗部門」と「総合展示部門」にて、ボランティアがお客様へわかりやすく解説することを目指している。まず、民俗部門解説展示ガイドは、沖縄県内の離島をはじめとする小規模校（20名以下）において教育普及担当とボランティアが調整しガイドを実施した。今年度は、合計7校98名を受け入れた。また、「総合展示部門」のガイドは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止していたA・Bコースを11月より再開したが、受け入れ実績は無かった。指定管理者のスタッフによるCコース「沖縄の歴史を知る10分ガイド」は、5団体120名に実施した。そして、次年度のボランティア活動を見据えて、10分ガイドの勉強会を行った。さらに、ジンプンボックスによる活動は今年度もテスト運用を行い、次年度に向けて実施曜日や時間、実施方法を検討することができた。

（1）民俗部門解説ガイド実施内容

- ①実施日：開館日の9:00～16:00
- ②所用時間：15分～30分
- ③対象：県内の離島をはじめとする20名以下の小学校・中学校・高等学校
- ④受付方法：事前申込
- ⑤参加費：無料
- ⑥内容：3種類のメニューから選ぶ。
 - ・Aコース【15分】「海とのかかわりを学びたい子どもたちへ」
見学マナーと博物館常設展示室<ウミのワザ、沖縄の住まいと衣食、年中行事と魔よけ>を案内。
 - ・Bコース【15分】「昔の道具を学びたい子どもたちへ（田畑仕事を中心に）」
見学マナーと博物館常設展示室<アギのワザ、くらしに生きる自然素材、沖縄の住まいと衣食>を案内。
 - ・Cコース【30分】「民俗分野全体を学びたい子どもたちへ」
見学マナーと博物館常設展示室（村落をとりまく世界→御嶽と神人→訪ね来る神々→人の一生→ウミのワザ→アギのワザ→くらしに生きる自然素材→沖縄の住まいと衣食→年中行事と魔よけ→祭り→行事の現在→変わりゆく風景）を案内。

※メニューを基準に、内容の組み換えは可能。

※現時点で、民俗分野以外の解説はできないが、他の分野の展示物の見どころをお話することは可能。（ただし、解説ではなく、展示物名を紹介する程度。）

（2）総合展示部門解説ガイド実施内容

- ①実施日：開館日の9:00～16:00
- ②所用時間：30分～60分
- ③対象：県内外の一般・修学旅行団体
- ④受付方法：事前予約
- ⑤参加費：無料
- ⑥内容：3種類のメニューから選ぶ。
 - ・Aコース【30分】「総合展示部門：10～100名以内」
総合展示部門の展示資料の前で沖縄の歴史を簡潔に学ぶことができる。
 - ・Bコース【30分】「ジンプンボックス*：100名以上」
おすすめの展示資料の前でボランティアが来場者へ解説を行う。
 - ・Cコース【10分】「沖縄の歴史を知る10分ガイド」
展示室に入る前に別室で沖縄の歴史の流れを簡潔に解説する。

「民俗部門展示ガイド」実施団体

回数	利用区分	地域	日付	団体名	対象	人数	スタッフ数
1	修学旅行	沖縄県	5月24日(金)	宮古島市立城辺小学校	生徒	22	4
2	修学旅行	沖縄県	6月7日(金)	学校法人カトリック学園 海星小学校	生徒	17	6
3	授業	沖縄県	10月11日(金)	渡嘉敷村立阿波連小学校	生徒	7	4
4	授業	沖縄県	11月26日(火)	渡名喜村立渡名喜小学校	生徒	5	3
5	修学旅行	沖縄県	11月27日(水)	久米島町立仲里小学校	生徒	18	6
6	修学旅行	沖縄県	11月28日(木)	国頭村立奥間小学校	生徒	18	4
7	修学旅行	沖縄県	11月28日(木)	国頭村立奥小学校	生徒	11	6
合計						98	33

「沖縄の歴史を知る10分ガイド」

回数	利用区分	地域	日付	団体名	対象	人数	スタッフ数
1	修学旅行	大阪府	4月16日(火)	東洋きもの専門学校	学生	11	1
2	修学旅行	埼玉県	11月13日(水)	東京学芸大学付属国際中等教育学校	学生	33	1
3	一般団体	沖縄県	11月14日(木)	沖縄県保護・援護課	一般	13	1
4	修学旅行	新潟県	2月25日(火)	新潟大学附属中学校 ※オンライン	学生	43	1
5	一般団体	秋田県	3月12日(水)	秋田県遺族連合会	一般	20	1
合計						120	5

宮古島市立城辺小学校

5月24日(金)

日時：5月24日(金)9:30~10:40

対象：宮古島市立城辺小学校 6年生6名・5年生12名 引率4名 計22名

内容：博物館ボランティア2名 職員2名(計4名)



学校法人カトリック学園海星小学校

6月7日(金)

日時：6月7日(金)15:10～16:50

対象：海星小学校 6年生14名 引率3名 計17名

内容：博物館ボランティア4名 職員2名(計6名)



渡嘉敷村立阿波連小学校

10月11日(金)

日時：10月11日(金)13:00～14:30

対象：渡嘉敷村立阿波連小学校 3年生1名・4年生4名 引率2名 計7名

内容：博物館ボランティア2名 職員2名(計4名)



渡名喜村立渡名喜小学校

11月26日(火)

日時：11月26日(火)13:30～14:30

対象：渡名喜村立渡名喜小学校・2年生1名・3年生2名 引率2名 計5名

内容：博物館ボランティア2名 職員1名(計3名)



久米島町立仲里小学校

11月27日(水)

日時：11月27日(水)13:30~15:30

対象：久米島町立仲里小学校 6年生15名 引率3名 計18名

内容：博物館班ボランティア4名 職員2名(計6名)



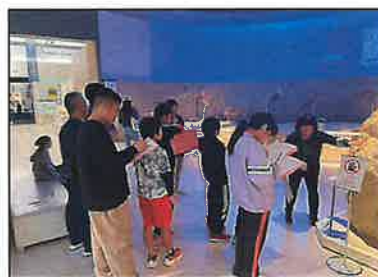
国頭村立奥小学校

11月28日(木)

日時：11月28日(木)11:00~12:40

対象：国頭村立奥小学校 3年生1名・4年生4名・5年生1名 引率5名 計11名

内容：博物館ボランティア4名 職員2名(計6名)



国頭村立奥間小学校

11月28日(木)

日時：11月28日(木)11:00~12:40

対象：国頭村立奥間小学校 6年生14名 引率4名 計18名

内容：博物館ボランティア2名 職員2名(計4名)



少人数ガイド ○○○立 ○○小学校(案)

日時 2024/○月/○日(○) 13:00～14:00 児童13名
6名×2グループ

《ポイント》	①沖縄の歴史・文化について ②昔の人々の衣食住について学びたい
---------------	------------------------------------

		13時														14時															
		0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	0	5	10	15	20	25	30	35	40									
1班 児童6名 ポラン ティア2	博物館・美術館・トイレ休憩 オリエンテーション・移動	民俗・歴史・ 自然史 (25分)							休憩 5分	自由見学・ ふれあい体験室 (25分)							エントランス 集合・ 解散	/													
		10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	0																			
2班 児童7名 ポラン ティア2		自由見学・ ふれあい体験室 (25分)							休憩 5分	民俗・歴史・ 自然史 (25分)							/														
		10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	0	5	10	15	20															25

<p>【解説・活動内容について】 沖縄の歴史文化について 民俗部門展示での解説を多めの時間を配慮し、総合展示室ガイドほかのガイドも盛り込みます。</p>

5 特別展・企画展関連事業

(1) 特別展「芭蕉布展」

会 期：2024年10月1日（火）～ 2024年12月1日（日）
場 所：特別展示室、企画展示室
主 催：沖縄県立博物館・美術館



① 文化講座

演 題：「喜如嘉の芭蕉布と無形文化財」
実施日：2024年10月26日（土）14:00～16:00
講 師：生田 ゆき（文化庁文化財第一課工芸技術部門文化財調査官）
会 場：講堂
参加者：125名

② 文化講座

演 題：「喜如嘉の芭蕉布」
実施日：2024年11月16日（土）14:00～16:00
講 師：平良 美恵子（喜如嘉の芭蕉布保存会 会長）
会 場：講堂
参加者：135名

③ 学芸員講座

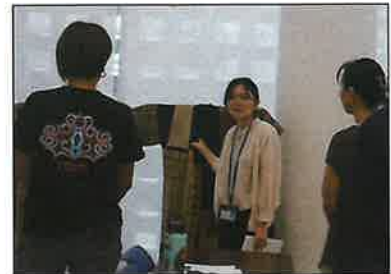
演 題：「美しい布 芭蕉布」
実施日：2024年10月12日（土）14:00～16:00
講 師：篠原 あかね（美術工芸担当学芸員）
会 場：博物館講座室
参加者：55名

④ 学芸員講座

演 題：「芭蕉とシマの生活誌」
実施日：2024年11月9日（土）14:00～16:00
講 師：大城 沙織（民俗担当学芸員）
会 場：博物館講座室
参加者：80名

⑤ 体験学習教室1

芭蕉布を羽織ってみよう 着衣体験
実施日：2024年10月13日（日）10:00～12:00
講 師：篠原 あかね（美術工芸担当学芸員）・大城 沙織（民俗担当学芸員）
会 場：博物館実習室
参加者：10名



⑥ 体験学習教室 2

芭蕉から糸をつくろう うーうみ体験

実施日：2024年11月10日（日）14:00～16:00

講師：喜如嘉の芭蕉布保存会

会場：博物館実習室

参加者：15名



⑦ 展示解説会

第4章の展示（喜如嘉の芭蕉布について）

実施日：2024年10月26日（土）13:00～13:30

講師：平良 美恵子（喜如嘉の芭蕉布保存会 会長）

会場：特別展示室

参加者：15名

⑧ 展示解説会

第1章から第3章の展示について

実施日：2024年11月1日（金）18:00～19:00

講師：篠原 あかね（美術工芸担当学芸員）・大城 沙織（民俗担当学芸員）

会場：特別展示室

参加者：15名

⑨ 映画上映会

海燕社の小さな映画会 コラボ企画（無料）

「芭蕉布を織る女たち-連携の手わざ-」

実施日：2024年11月17日（日）14:00～15:30

企画制作：ポーラ伝統文化振興財団/1981年

監督：村山英治/製作協力：桜映画社（30分）

併映：「武州藍」（民族文化映像研究所制作/1986年）

会場：特別展示室

参加者：143名

⑩ おきげい出前コンサート

琉球舞踊鑑賞会

実施日：2024年11月30日（土）15:30～16:00/16:30～17:00

出演：沖縄県立芸術大学 音楽学部音楽科

琉球芸能専攻学生

同学科准教授 嘉数道彦

会場：エントランスホール

参加者：210名

(2) 企画展「琉球列島 地質・化石展」

会 期：2024年12月20日（金）～2025年02月24日（月）

場 所：特別展示室1、特別展示室2、企画展示室

主 催：沖縄県立博物館・美術館

① 文化講座

演 題：「貝と化石に魅せられた一人のうちなーんちゅのはなし」

実施日：2025年1月18日（土）14:00～16:00

講 師：安里 開士（福井県立恐竜博物館 研究員）

会 場：講堂

参加者：145名

② 体験学習教室

化石発掘体験

実施日：2025年2月15日（土）10:00～11:30

講 師：新山 颯大（地質担当学芸員）

会 場：博物館実習室

参加者：13名



6 常設展に関する取組み

(1) 博物館常設展見どころマップ「ここだけは見逃すな！」の活用

博物館常設展の見学の手助けとして、平成 23 年度に作成した見どころマップ「ここだけは見逃すな！」を引き続き常設展入口のラックに設置し、今年度は、約 21,000 枚（日本語版 16,500 枚、英語版 4,500 枚）を配布した。

(2) 「沖縄 2 億年の歴史を 1 時間で旅するシート」

沖縄の歴史を短時間で伝えることを目的とした本シートは、約 10,000 枚配布した。観光客や県内のお客様、さらには、修学旅行生にも好評だった。

(3) 博物館常設展示室ワークシート

常設展示室内で学芸員が特に見てほしい資料を紹介するため作成したワークシートは、全 9 種類約 11,100 枚を配布することができた。次年度は、これまで作成したワークシートを今一度見直し、さらに見やすくわかりやすいシートに整える。

内 容：①「アタク（オキナワキノボリトカゲ）をさがせ！」（生物①）

②「日本で唯一飛べない鳥ヤンバルクイナのひみつ」（生物②）

③「港川人を解析せよ」（人類①）

④「道具を探せ」（考古①）

⑤「よく見てサークルホールの化石」（地学①）

⑥「石と友達になろう 石灰岩編」（地学②）

⑦「沖縄の魔除けをさがせ！」（民俗①）

⑧「三線のひみつ」（美術工芸①）

⑨「銅鐘 DOUSHO コレクション」（歴史①）

7 新聞・雑誌等掲載一覧

博物館で開催した催事に関する新聞や雑誌における掲載は下記の通りである。

○ふれあい体験室

	発行日	掲載紙	掲載欄	内容
1	7月25日(木)	沖縄タイムス	ほ～むぶらざ	【夏休み企画】自由研究にも学べる3施設

○文化講座

	発行日	掲載紙	掲載欄	内容
1	1月26日(日)	琉球新報	りゅうPON!	「貝の謎 化石が語る」 1月文化講座 講演内容と講師への取材記事

8 印刷物一覧

回数	タイトル	規格	デザイン	印刷	部数
1	文化講座チラシ (12回)	A 4 (片面カラー)	(一財)沖縄美ら島財団 (5月のみ博物館班)	(株)グラフィック 館内手刷り	6,000
2	学芸員講座チラシ (10回)	A 4 (片面カラー)	(一財)沖縄美ら島財団 (5月のみ博物館班)	(株)グラフィック 館内手刷り	5,000
3	体験学習教室 (1回) *民話上映会含む	A 4 (片面カラー)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	300
4	「夏休み！こどもフェスタ2024」チラシ	A 4 (両面カラー)	古味 竜一	(株)グラフィック	2,500
5	「第15回 移動展in多良間村」チラシ	A 4 (両面カラー)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	600
6	これだけは見逃すな！ (日本語)	A 4 (両面カラー)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	10,000
7	これだけは見逃すな！ (英語版)	A 3 (両面カラー)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	3,500
8	博物館常設展ワークシート (生物1) 「12匹のアタク (オキナワキノボリトカゲ) をさがせ！」	A 4 (両面カラー・二つ折り)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	1,000
9	博物館常設展ワークシート (生物2) 「日本で唯一 飛べない鳥ヤンバルクイナのひみつ」	A 4 (両面カラー・二つ折り)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	1,500
10	博物館常設展ワークシート (人類1) 「港川人を解析せよ」	A 4 (両面カラー・二つ折り)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	1,000
11	博物館常設展ワークシート (地学1) 「よく見てサークルホール化石」	A 4 (両面カラー・二つ折り)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	1,000
12	博物館常設展ワークシート (地学2) 「石と友達になろう」	A 4 (両面カラー・二つ折り)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	1,000
13	博物館常設展ワークシート (考古1) 「道具を探せ」	A 4 (両面カラー・二つ折り)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	1,000
14	博物館常設展ワークシート (美術工芸1) 「三線のひみつ」	A 4 (両面カラー・二つ折り)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	1,000
15	博物館常設展ワークシート (民俗) 「沖縄の魔除けをさがせ！」	A 4 (両面カラー・二つ折り)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	1,000
16	博物館常設展ワークシート (歴史1) 「銅鐘DOUSHOコレクション」	A 4 (両面カラー・二つ折り)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	1,000
17	「琉球列島 地質・化石展」展 場内マップ	A 4 (片面カラー)	(一財)沖縄美ら島財団	(株)グラフィック	5,000

令和6年度
沖縄県立博物館・美術館
博物館教育普及活動
2025（令和7）年3月

発行 沖縄県立博物館・美術館
〒900-0006
那覇市おもろまち3丁目1番1号
Tel (098) 941-8200（代表）
Fax (098) 941-2392

編集 沖縄県立博物館・美術館 博物館教育普及
沖縄県立博物館・美術館指定管理者 一般財団法人 沖縄美ら島財団

制作 企画印刷 ハーツ